



InvestHK

The Government of the Hong Kong
Special Administrative Region

Deloitte.

香港で商機を掴む：活気溢れる イノベーションとテクノロジーのエコシステム



はじめに

香港のイノベーションとテクノロジー（I&T）産業は、近年かつてないほどの発展を遂げました。中国の第14次5カ年計画に沿った政府の強力な支援と、「広東・香港・マカオ大湾区」（大湾区）における機会に支えられ、香港は飛躍を遂げ、持続可能で連携のとれたエコシステムを構築しました。このようなI&T環境は官民のコラボレーションを促進し、エコシステムの関係者はグローバルな視点を持ち合わせつつ、かつてない速さと規模でイノベーションを実現させています。

本レポートは香港投資推進局（インベスト香港）とDeloitteが共同で香港のI&T産業の現状を詳細に分析し、作成したものです。本レポートでは、I&T分野における香港のマイルストーンと、香港が国際的なI&Tハブに変貌を遂げる大きな可能性について解説しています。また、香港の主要なI&T分野である生命健康科学、人工知能（AI）とロボティクス、スマートシティおよび情報通信技術（ICT）についても詳述しています。

Deloitteのスタッフと業界専門家は、香港のI&Tエコシステムを包括的に理解するために、その深い経験と市場調査を駆使しました。香港のI&Tセクターの形成に重要な役割を果たしている関係者の方々からも意見やコメントを頂戴し、本レポートの作成にご協力いただいたことに、この場を借りて感謝申し上げます。

2017年、習主席は中国科学院と中国工程院の香港会員が提起した問題について重要な指示を出し、香港が国際的なI&Tセンターに発展することへの支持を明確に示しました。中国の中央政府の確固たる支援体制により、香港のI&T分野は過去数年で驚異的な発展を遂げ、研究開発投資、スタートアップ数、ベンチャーキャピタル投資、香港発のユニコーン企業数およびI&T関連の国際ランキングで優れた結果を残しています。

2022年6月の習主席による香港サイエンスパーク訪問は、中央政府が香港のI&T産業の発展を重視し、認めていることを示しています。7月1日に香港で行われた習主席の演説も、香港が国際的なI&Tセンターとして発展することへの大きな弾みとなりました。香港特別行政区政府は、香港のI&T産業の発展を全力で推進していきます。I&T分野の人材プールをさらに充実させ、より活気に溢れたI&Tエコシステムを構築し、スマートシティの開発を加速させることで、市民が日常生活において技術の進歩がもたらす利便性と生活の質の向上の恩恵を受けられるようにし、香港を国際的なI&Tセンターに発展させることを目指しています。

国家の発展から生じる大きなチャンスをつかみ、香港はI&T分野で中国本土との協力をさらに深め、大湾区における国際的なI&Tハブとして発展することに邁進します。また、中国本土との関係を活かしつつ世界と手を携えることができるという香港のユニークな立場を最大限に活用し、国家の開発計画に足並みをそろえつつ、中国の科学技術の発展に努めます。

Professor Dong Sun
Secretary for Innovation, Technology and Industry



「I&Tは経済とビジネスにおける成功の要です。これは香港にも言えることで、我々のDNAにも組み込まれています。第14次5カ年計画で定められたように中国にとっての国際的なI&Tハブであり、ダイナミックなアジアの中心に位置する香港は、I&T分野でのチャンスに溢れています。研究開発、応用、物流、販売、貿易、先進製造等、広範囲なI&T分野において海外の投資家に多様な商機を提供しています。活気ある大湾区の中でも国際都市である香港は、大湾区、中国そして海外において、I&T分野の企業、人材、リソースを結びつける理想的なプラットフォームです。ぜひ香港に進出し、大いなるチャンスを掴んでください」

Stephen Phillips
Director General of Investment Promotion
Invest Hong Kong



「長年にわたり、香港内外に影響を与えるI&Tの専門家が学界や産業界から流入していることで、香港のI&Tエコシステムはますます活気を帯びてきています。生命健康科学の分野では、新しい診断と治療のソリューションが医療へのアクセスと質を向上させ、AIとロボティクスが産業プロセスをより効率化する一方で、私たちの生活に利便性をもたらしています。香港は、これらの取り組みを支援するために資金と人材のリソースを積極的に投入しており、第14次5カ年計画の下、国際的なI&Tハブへと発展する途上にあります」

Edward Au
Southern Region Managing Partner
Deloitte China



なぜ香港？





I&Tは持続可能な成長を引き出すための鍵です。香港政府はI&T産業の発展推進の先頭に立ち、2017年以降に1,500億香港ドル以上を投資し¹、第14次5カ年計画に沿って包括的なI&T政策を導入しています。また香港は近年、ヘルスケアから先進製造に至るまで、複数の産業分野にわたってイノベーションへの取り組みに乗り出しています。「北部都会区発展戦略」を含む最近の構想により、香港は広東・香港・マカオ大湾区域内だけでなく、国際的にもI&T企業同士を結び付ける活気あるプラットフォームとして前進し続けているのです。

香港のI&Tエコシステムには、国際的なI&T企業からスタートアップまで、あらゆる企業を成功へ導くための豊富な知識と専門性が蓄積されています。

¹ Chief Executive's 2021 Policy Address



P.10

1 成長への足がかり

香港はビジネスにおける調整役であり、中国本土および海外市場への跳躍台

香港は非常に住みやすい国際都市であり、成熟した法制度と強力な特許保護、高度な金融システムを備えているため、企業が発展するための理想的な条件が整っています。今後予定されている大規模な北部都会区発展戦略では、香港と深圳の協力関係をさらに深め、より包括的なI&Tエコシステムを構築します。

2 強固なインフラストラクチャー

ビジネス活動を支える高度なインフラ

香港は空路、海路、陸路の物流インフラが整備され、世界各地と結ばれています。また、安定した電力供給と堅牢な通信環境を備え、携帯電話や家庭用ブロードバンドの普及率では世界トップクラスです。公的医療制度は非常に効率的で、二次および三次医療において重要な役割を果たしています。



P.24



P.28

3 共同研究

世界トップレベルの大学と人材が、I&T分野のコラボレーションを実現

香港にはI&T関連の教育や研究に深い経験と専門知識を持つトップレベルの大学があります。「InnoHK」イニシアチブは生命健康科学、人工知能およびロボティクスに関する国際的な研究協力のためのプラットフォームです。



P.35

4 高度な研究施設

最先端の研究開発（R&D）施設

香港サイエンスパーク（HKSTP）、サイバーポート、そして近々オープン予定の香港・深圳イノベーションテクノロジーパーク（HSITP）は、最先端の研究開発設備を備えたラボを提供します。さらに、將軍澳、元朗、大埔にあるHKSTPの「InnoPark」は、210ヘクタール以上の製造施設を備えた産業用スペース（工業団地）を提供しています。²

5 資金調達のしやすさ

幅広い金融サービスと資金調達支援

アジアの金融ハブである香港は、世界最大級の証券取引所を擁する成熟した金融システムを持っています。ビジネスライフサイクルのあらゆる段階において、政府からの補助金や民間からの投資など、I&Tに焦点を当てた幅広い資金調達が可能です。



P.45



P.54

6 包括的なエコシステム

スケールアップや市場拡大のための包括的なアドバイザリーとビジネスサポート

香港の企業は、国際的に有名なプロフェッショナルサービス業界によって支えられています。また、業界関係者や研究者がネットワーキングやコラボレーションを行うためのフォーラム、イベント、インキュベーター、アクセラレーター、コワーキングおよびコリビングスペースが多数存在します。

² HKSTP – InnoPark Innofacturing Tomorrow

生命健康科学

香港のバイオテクノロジー関連研究に対する包括的な支援には、最先端の機器を備えた研究所や、政府が設立した研究クラスターである「Health@InnoHK」や「InnoLife Healthtech」を通じたコラボレーションエコシステムなどが含まれます。また、香港サイエンスパークがアストラゼネカと協力して立ち上げた共同インキュベーションプログラムや、臨床試験サービスなども含まれます。同臨床試験サービスの臨床試験結果は信頼性が高く、医薬品および医療機器登録のために海外の規制当局からも承認されています。³

確立された法制度と、トップクラスの知的財産（IP）関連の法務サービスプロバイダーの多くが本拠を置く香港は、強力な執行力を持つ強固なIP制度を持ち、安全でイノベーションを良い結果に導く環境を提供しています。

さらに、香港はアジアで最大、世界でも第2位のバイオテクノロジーの資金調達拠点としても台頭しています。収益を生み出す前段階の企業も、香港証券取引所（SEHK）のメインボードに上場することで資金を調達することができます。また、香港には香港大学や香港中文大学など有名な医学部を有する大学もあります。

ケーススタディ

PHASE Scientific
P.33

Viva Ventures
Biotech Fund
P.53

人工知能（AI）とロボティクス

香港ではAI導入の最有力分野である金融、物流、建設、ヘルスケアの各産業が確立されています。このため、香港はテクノロジー企業がソリューションを開発および実装するための理想的なローンチパッドとなっています。香港政府が再工業化を熱心に推進していることに加え、産業界全体における活用事例が増えていることから、AIソリューション、ロボティクス、マイクロエレクトロニクスに対する需要は拡大すると予想されます。

香港はAIとロボティクスのイノベーションが活発です。SmartMoreを含むいくつかの香港ユニコーン企業の存在は、香港には質の高い人材が豊富であることを証明しています。このAIとロボティクスの人材プールは、「AIR@InnoHK」研究ハブの設立によってさらに拡大します。

Geek+
P.18

SmartMore
P.60

ケーススタディ

³ 中国国家薬品监督管理局、米国食品医薬品局と欧州医薬品庁を含む。

スマートシティ

香港政府が発表した包括的な「Smart City Blueprint 2.0」は、スマートモビリティ、スマート環境、スマートリビングに関連するテクノロジーと利用事例の理想的なイノベーションの舞台としての香港の地位を活用し、香港が世界で最もスマートな都市の1つとして台頭するための明確な道筋を示しています。

「気候行動計画2050」の下、香港政府は2050年までに、香港がカーボンニュートラルを達成することを目指しています。この計画は省エネルギー、グリーン輸送、廃棄物管理、大気質および水質の改善などを網羅し、脱炭素化の取り組みに重点を置いています。

NEC
P. 14

Schneider
Electric
P.15

Hong Kong Aerospace
Technology Group
P.34

ケーススタディ

情報通信技術（ICT）

香港はデジタル分野において世界で最も競争力がある都市の1つであり、5Gネットワークを含む高度なデジタルインフラは、インダストリー4.0技術の展開を促進します。多国籍企業の広範なネットワークが存在することで、香港は技術導入のための最適な拠点になります。

香港政府は経済成長戦略の柱の1つとして、香港におけるデータセンターを含むICTインフラの発展を全面的に支援しています。これは、ICTとデータ中心のビジネスを支援するために、香港サイエンスパークが「データテクノロジーハブ」を立ち上げたことにも反映されています。

香港のデータプライバシーとIPに関する成熟した法制度は、エンドユーザーが安心してICTソリューションを採用できることをさらに確実なものにしています。

Microsoft
P.43

ケーススタディ

成長の足がかり

香港はビジネスにおける調整役であり、
中国本土および海外市場への跳躍台



成長し、活気づく香港の I&T経済圏で事業を展開

香港政府はI&T分野の発展において、かつてないほどの前進を遂げました。また、香港のI&Tは第14次5カ年計画において、重要な新興分野の1つになっています。同計画は香港を国際的なI&Tハブとして発展させることを支持し、大湾区の重要な協力プラットフォームの1つとして落馬洲ループ（香港と深圳の境界にあるHSITPの開発地域）を含んでいます。

香港にオフィスを構える主なメリット

- 1 法律と知的財産保護の枠組みが確立されている
- 2 中国、アジアおよび国際市場への近接性
- 3 国際色豊かな人材プール
- 4 基礎および応用研究における卓越性
- 5 資金調達が容易

デジタルとイノベーションの分野で トップクラスの経済圏

- 2021年IMDワールドデジタルレポートのデジタル競争力分野において、アジア太平洋地域で**1位**、世界で**2位**⁴
- 2021年グローバル・イノベーション・インデックスにおいて世界で**14番目**に革新的な経済圏⁵

多国籍企業（MNC）の集積と I&T導入に適した高い人口密度

- **9,000社以上の多国籍企業**の内、**3,900社以上**が香港に地域本部または事務所を設置⁶
- **高い人口密度**は製品トライアルに理想的
 - AIテクノロジーの**高い導入意欲**
香港人の8割がAIを使った健康管理に興味あり⁷

84%

香港のI&T業界は
繁栄と活況を呈している

拡大するI&Tへの投資

- 過去5年間で香港政府はI&T分野の発展を促進するため**1,500億香港ドルを超える投資**を実施⁸
- 過去10年間で**研究開発に対するGDP支出は2倍に増加**し、2020年は266億香港ドルに。研究開発に対する政府の拠出は2017年から2020年にかけて年率**11%**で増加⁹

活発なスタートアップ コミュニティ¹⁰

- ますます活気づくI&Tエコシステム
 - 過去10年間で**スタートアップの数は3倍に増加**
 - 2021年には**3,755社**に到達¹¹
- 香港における**スタートアップによる雇用者数：13,804名**
- **コワーキングスペース、インキュベーターおよびアクセラレーターの総数：124**

⁴ IMD World Digital Competitiveness Ranking 2021

⁵ Global Innovation Index 2021, World Intellectual Property Organization

⁶ 2021 Annual Survey of Companies in Hong Kong with Parent Companies Located outside Hong Kong, Census and Statistics Department, Hong Kong Government

⁷ Inaugural Prudential Hong Kong Smart Health Action Index survey

⁸ Hong Kong Government Press Release

⁹ Gross domestic expenditure on research and development (R&D) by source of funds, Census and Statistics Department, Hong Kong Government

¹⁰ InvestHK's 2021 Startup Survey

¹¹ Support Start-ups and Technology Investments, Budget Speech, The 2022-23 Budget

強固なIP保護制度

香港には原授標準専利制度を含む強力なIP保護制度があります。この制度により、企業は他の地域で事前に登録することなく、香港で直接特許保護を受けることができるため、利便性が向上します。また、企業は標準特許（最長20年）や短期特許（最長8年）を通じてIP保護を受けることもできます。

香港の知識産権署では1対1の無料IP相談サービスを提供しています。さらに、香港貿易発展局が提供する「Asia IP Exchange」（AsiaIPEX）という無料のオンラインプラットフォームとデータベースにより、世界中のIPについて情報が得られます。



有利な金融システム

香港ドルは米ドルに連動しているため、同様にドルペッグ制を採用する通貨に対し、外国企業は為替リスクを軽減することができます。香港は、香港証券取引所を通じて新規株式公開（IPO）を行うことができる世界的な金融センターです。香港のIPO市場は過去13年間の内、資金調達額で7回も世界第1

位になり¹²、2021年には3,310億香港ドルが調達されたと推計されています。¹³さらに、2022年1月には香港証券取引所において特別買収目的会社（SPAC）の上場制度が施行され、国際金融センターとしての香港の主導的な地位はさらに強固なものとなっています。

¹² HKEX – Listing with HKEX

¹³ Mainland and Hong Kong IPO Markets to Remain Strong and Vibrant in 2022 (2021), Deloitte



住みやすい都市

香港では英語と中国語が公用語であるため、外国人が生活しやすく、働きやすい環境です。レジャー施設やアトラクション、美しい自然を楽しむ場所が多数ある他、国際的なプログラムに沿った教育を受けられる学校が50以上あります。¹⁴

低税率で簡素、 かつ有利な税制度

企業は最初の200万香港ドルまでの課税所得に対しては8.25%、200万香港ドル超過分については16.5%課税されます。また、適格研究開発費は、大幅な税額控除が適用されます。

二段階税率を適用した強力な減税制度の下、企業は最初の200万香港ドルまでの研究開発費に対し300%の税額控除を受けられ、さらに残りの研究開発支出についても200%の税額控除を受けることができます。¹⁵

自由貿易港の地位

香港は自由貿易港であり、輸出入について関税は課されません。さらに、中国本土と香港間の経済緊密化協定「CEPA」や、ニュージーランド、欧州自由貿易連合加盟国、チリ、マカオ、東南アジア諸国連合（ASEAN）、ジョージアおよびオーストラリアとの自由貿易協定（FTA）により、香港の貿易障壁はさらに低くなっています。CEPAにより、香港で製造された製品や香港に拠点を置くサービス企業は、中国本土の市場に参入し易くなっています。CEPAは香港に事業所を持つ外国企業にも同様に適用されます。

香港は情報技術協定（ITA）にも参加しており、世界貿易機関の加盟81カ国とともにコンピューター、通信機器、半導体、半導体の製造および検査装置、ソフトウェア、科学機器などの技術製品に対する関税をゼロにすることに合意しています。

¹⁴ Hong Kong Government, Hong Kong: The Facts – Education

¹⁵ Inland Revenue Department, Hong Kong Government

NEC Hong Kong : イノベーションの拠点として

スマートシティ

NECはITとネットワークソリューションを提供する日本の情報技術およびエレクトロニクスの多国籍企業です。1984年に、香港にNEC Hong Kong Limited（NEC Hong Kong）を設立し、主に製品流通を中心としたビジネスを展開しています。

過去数十年の間に、NEC Hong Kongはワンストップのテクノロジーソリューションおよびサービスプロバイダーへと変貌を遂げ、香港、マカオ、中国本土において顧客の高まる需要に応えるため、提供するソリューションやサービスを急速に拡大しています。

同社の専門分野はスマートシティ、データ解析、AI、スマート輸送、生体認証、クラウドコンピューティング、ITプラットフォームおよびネットワーキングに関連するソリューションやサービスが含まれます。また、銀行・金融、ヘルスケア、小売そして公共部門に至るまで、様々な業界における顧客の多様なニーズに対応するため、テラーメイドのソリューションを提供しています。

同社はイノベーションと研究開発にも積極的に取り組んでいます。香港中文大学と提携し、NECソーシャルロボット「HUMANE」を活用した行動介入プログラムを提供しています。HUMANEは社会的に孤立している人や仲間を必要としている人に刺激を与え、関与し、行動を可能にし、そして力を与えるように設計されています。カメラ、マイク、センサーを通して様々なデータを分析のために収集しながら、個人とインタラクティブにコミュニケーションすることができます。

同社は数々の受賞歴があり、最近では「Smart Living Partnership Awards 2021」の4部門における「Outstanding Solution賞」や「Leaders of Innovation Awards 2019」が挙げられます。

「香港が革新的な発明を育むのに最適な場所である理由は、主要なグローバル市場への近接性、国際的な考え方を持つ豊富な人材、そして世界屈指の通信インフラにあります。当社は幸運にも、香港で様々な研究開発やイノベーション活動に資源を投入し、他の都市でも同様に高い評価を得ている独自の特許製品の開発に成功しています」

「香港の高い人口密度は、スマートシティに関連する多くの使用事例を提供します。さらに、技術製品のユーザーの水準が高いため、香港は製品トライアルに理想的な環境と言えるでしょう」



Elsa Wong
Managing Director,
NEC Hong Kong

79%

香港の社会はデジタルソリューションを信頼し、その導入意欲が高い

76%

香港の社会は創造性とその実験を受け入れている

SCHNEIDER ELECTRIC : 香港を拠点としたI&Tエコシステム パートナーシップの推進

スマートシティ

世界100カ国以上に128,000人を超える従業員を擁するSchneider Electricは、すべての人々に対し進歩と持続可能性をもたらすことを目標に、エネルギーと資源を最大限に活用するための力添えをしています。世界をリードするプロセスおよびエネルギー技術やエンドポイントからクラウドに接続する製品、制御機器、ソフトウェア、サービスをライフサイクル全体にわたリ統合することで、デジタルトランスフォーメーションを推進しています。「グローバル企業の中で最もローカルな企業」を標榜する同社は、マルチハブ戦略として本社機能を4つのハブに分割しています。欧州はフランス、アジアは香港、北米はボストン、そして最近ではインドを加えた4拠点です。香港拠点は戦略、事業開発、販売およびマーケティングを含む地域本部および現地事務所としての機能を担っています。

同社は没入型のインタラクティブなデジタル体験を提供するため、2,500平方フィートの「香港イノベーションハブ」を改装しました。これは、同社の持続可能性、効率性、デジタル化およびイノベーションへの長期的なコミットメントを示すものです。世界有数の設備を備えたこのハブでは、顧客、パートナー、その他の関係者が、同社のIoT対応でオープンな相互運用アーキテクチャおよびプラットフォーム「EcoStruxure™」を利用し、最新のテクノロジーとイノベーションを探求することが可能です。

電気自動車（EV）の普及を推進するという香港政府のビジョンを共有し、同社は不動産所有者やデベロッパー、駐車場運営会社と協力の上、エネルギー効率の高いEV充電ソリューションによる充電設備提供の強化に努めています。同社はすでに、香港で50カ所以上に2,000台を超えるEV充電器を設置しています。すべての関係者との緊密な連携を通じて、2025年までに香港全域で15,000台のEV充電器を提供することで、同社はEV充電ネットワークを強化することを目標としています。

「当社のマルチハブ戦略は、当社のリーダーや従業員がより深い理解をもって地域社会に利益をもたらす意思決定を行うことを促し、同時に様々な地域においてイノベーションとコラボレーションを強力に推進させています。私たちは、それぞれの市場において顧客もそれぞれ異なることを理解しています。香港を例にとると、同地では不動産デベロッパーが密集しているため顧客のニーズを直接知ることができ、顧客に最も適したカスタマイズおよび個別化されたサービスとソリューションを提供しています。戦略的な立地と世界クラスのインフラを持つ香港は、強力なサプライチェーン能力を持つ地域のハブとしては非常に信頼性が高く、適しています」

「香港の高度な通信施設、法務サービス、ビジネスフレンドリーな環境、そして国際金融センターとしての地位は、I&Tビジネスの運営に適した環境を創出しています。このことが、多くのグローバルおよび中国ベースのデータセンター事業者が香港に拠点を置き、成功を収めている理由です」

「当社は技術パートナー（多国籍企業やスタートアップ）、システムインテグレーター、不動産デベロッパーなどのパートナーおよびエンドユーザーを含む、香港の様々なI&Tエコシステムのプレーヤーと密接に協力しています」



Jonathan Chiu
President, Schneider
Electric Hong Kong

中国本土および海外市場進出のための戦略的立地

香港は中国本土と東南アジアに隣接する戦略的な立地に位置しています。最新鋭の国際空港を有する香港は、アジアの各主要市場にわずか4時間以内のフライトでアクセスすることができます。¹⁶

本土の大湾区都市との密接な関係

香港に拠点を持つ企業は、大湾区のバリューチェーンの強みを活かし、中国本土の巨大な市場の潜在力を活用することができます。

北部都会区発展戦略の要点

- 数々の研究クラスター、エコ・レクリエーションスペースなどを有する総合的な地域開発を行う
- 香港の世界有数の人材と研究資源を、深圳の比類なき商業化および生産施設と統合し、統合型イノベーション・バリューチェーンを形成
- 香港と深圳を物理的に結ぶ交通網を構築し、両都市間の人材移動を促進
- I&T産業を主な経済エンジンとし、落馬洲ループ内の香港・深圳イノベーションテクノロジーパーク（HSITP）、落馬洲ループ周辺地域と新田周辺地域を含む「新田科技城（サンティン・テクノポール）」の開発により強化。香港政府は新田科技城の開発に325億香港ドルを投入し、最初の施設群は2024年から2027年にかけて完成予定

北部都会区発展戦略は、香港と中国本土の大湾区都市間の境界を越えた協力をさらに促進するものです。同戦略はGBAの発展および「Hong Kong 2030+（2030年以降のビジョンと戦略策定に向けて）」に沿う形で立てられたものです。このプロジェクトは2つの行政区画（元朗区と北区）にまたがり、3万ヘクタールの敷地に建設されます。

大湾区の利点（上位5つ）

- 1 新しく、より大きな市場
- 2 強力な人材プール
- 3 大湾区内の大企業との業務提携の機会
- 4 大湾区内の研究開発機関や企業との研究開発協力の機会
- 5 原材料供給および生産拠点を含むサプライチェーン拠点への近接性



¹⁶ Meetings & Exhibitions Hong Kong (MEHK) – Strategic Location

「一帯一路」構想を通じてアジアの他の地域、中東、アフリカ、欧州と連結

一帯一路構想では「シルクロード経済ベルト」と「21世紀海上シルクロード」を通じてアジア、中東、東アフリカおよび東欧を結びます。6つの経済回廊にまたがるこの構想の目的は、政策協調の推進、インフラ

接続の確立、円滑な貿易の促進、金融統合の強化、そして人と人との絆の育成にあります。同構想内の市場への参入を意図する企業にとって、香港はコネクター（仲介役）となる存在です。

一帯一路構想の6つの経済回廊¹⁷



貿易協定を通じた東南アジアとの緊密な関係

2021年2月、香港は東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟10カ国と、自由貿易協定および投資協定を締結しました。さらに、2022年1月、中国、ASEAN加盟10カ国、韓国、日本、オーストラリア、ニュージーランドの間で締結された自由貿易

協定である地域的な包括的経済連携（RCEP）への加盟を申請しました。これらの貿易協定は貿易コストを削減し、香港とASEAN加盟国間の経済的な結び付きを強めます。

¹⁷ China's Belt and Road Initiative in the Global Trade, Investment and Finance Landscape (2018), OECD

geek+ : 香港、 新市場への足がかり

AIとロボティクス

2015年に北京で設立されたGeek+は、倉庫や工場業務の自動化を中心に、AIとロボティクス技術を用いたスマート物流ソリューションに特化したグローバルテクノロジー企業に成長しました。同社はEコマース、小売、アパレル、物流、製薬、自動車、3C（コンピューター、通信機器、家電）製造などの分野の顧客にサービスを提供しています。

2018年に同社が北京域外に進出することを決めた際、ビジネスと金融のハブとしての国際的な地位、豊富なI&T人材、そして中国本土と国際市場を結ぶ戦略的な立地を理由に、香港にアジア太平洋地域本部を設立しました。

わずか3人のスタッフからスタートした香港の拠点は、現在では100人以上を抱えるまでに成長しました。2018年に香港に進出して以来、現在では30カ国以上にわたるターゲット市場の拡大に支えられ、同社の収益は5倍に増加しました。今後は香港での事業をさらに強固なものとし、台湾、韓国、オーストラリアにも新しく事務所を開設する予定です。

香港での成功を受け、2021年に同社は香港にグローバル研究開発センターを設立しました。この研究開発センターは香港サイエンスパークとの提携により立ち上げられ、Geek+が製品やソリューションを試験および展示するための場所となっています。

「香港はアジアの中心に位置し、中国本土やアジア太平洋地域の他の市場だけでなく、世界の主要なビジネス都市との接続も非常に優れています。さらに、香港は世界有数の卓越した貿易センターとして、国際市場との資本とモノの自由な流れという点で、当社は多くの恩恵を受けています」



Lit Fung

VP, Managing Director of
Overseas Business,
Geek+

生命健康科学

「データはバイオテクノロジー企業にとって重要な要素です。香港には病院管理局を通じて利用できる膨大なデータがあり、これらはヘルスケア関連の研究活動やアイデアの刺激に計り知れない価値を生み出す可能性を秘めています。また、香港に根付く強い起業家精神は、ライフサイエンスとヘルスケア産業のイノベーションを推進する上で追い風になるでしょう」



Daniel Thurley

President, Hong Kong Association of the Pharmaceuticals Industry
General Manager — Hong Kong and Macau,
Roche
(インタビュー時)

確立された効率的な医療システム

- 香港は効率的なデュアルトラック医療システム（公的部門と民間部門の二本立て運営）を採用しており、入院患者のケアの90%が公的医療システムでカバーされています

広く認められた臨床試験プロセスとデータ

- 香港の4つの病院¹⁸は中国の国家薬品监督管理局から第1相臨床試験機関の認定を受けています。香港の臨床試験データは、米国および欧州の規制当局にも認められています

中国本土のバイオサンプルへのアクセス

- 中国中央人民政府は、中国本土のヒト遺伝資源を香港に輸出する際の制限を緩和しました。中国本土にある香港の4つの大学の分校が、パイロットスキームに参加するための所定の要件を満たしているとして、中国科学技術部（MOST）により認定されています¹⁹

生命健康科学関連研究への支援

- ヘルスケア関連研究の国際協力を推進する研究クラスターであるHealth@InnoHKを設立しました
- InnoLife Healthtech Hubを香港・深圳イノベーションテクノロジーパーク（HSITP）内に設置し、現在InnoHK研究クラスターに属する16の生命健康関連の研究所と、香港のヘルスケア分野に関連する8つの主要な国家研究機関を入居させ、香港と中国本土の大湾区都市間のクロスボーダー連携をさらに加速させる予定です

収益を生み出す前段階のバイオテック企業向け上場規則「Chapter 18A」

- 2018年のChapter 18A上場規則の導入により、収益や利益を生み出す前段階のバイオテック企業が香港証券取引所に上場できるようになり、資金調達の可能性が拡大しました

生命健康関連技術の開発のための資金提供をコミット²⁰

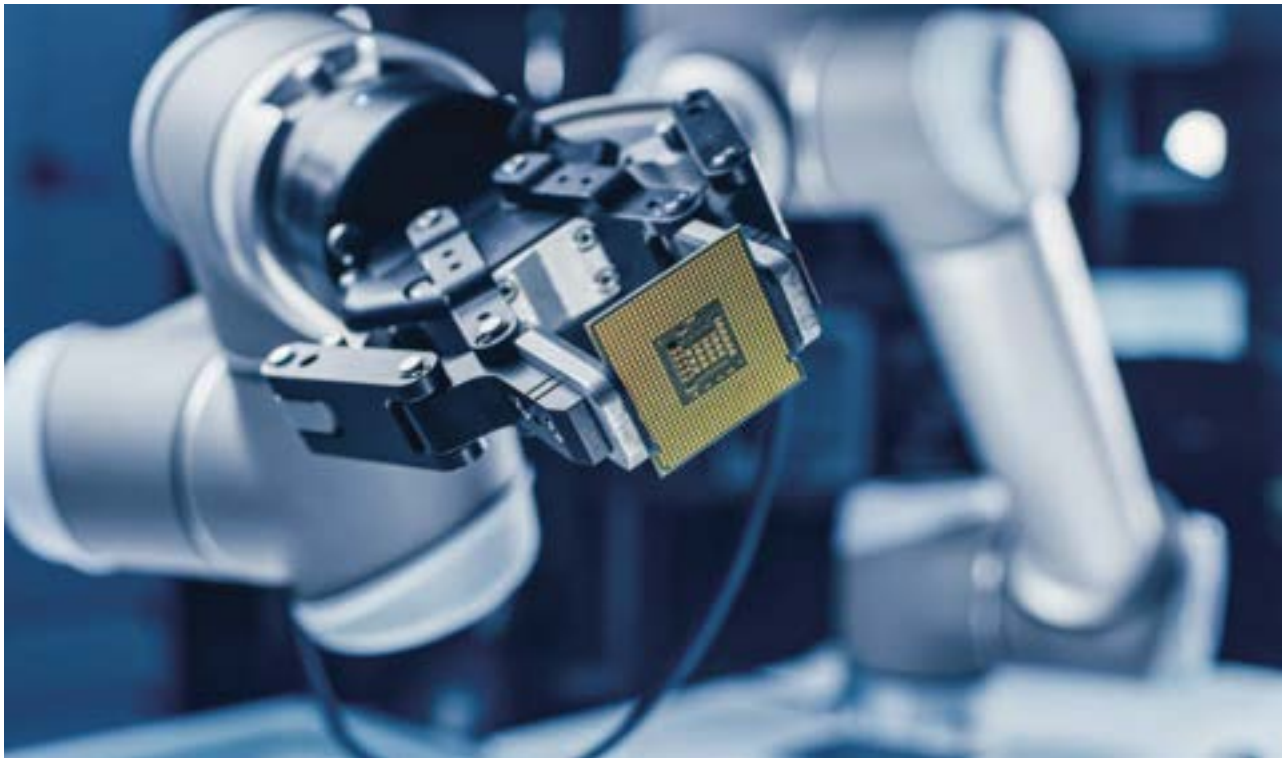
- 香港政府は2022-23年度予算で100億香港ドルを計上し、ハードウェア開発、研究人材、臨床試験、データ応用への長期的支援を行います

¹⁸ The Clinical Research Management Office at The Chinese University of Hong Kong, The Clinical Trial Centre at the University of Hong Kong, The Hong Kong Sanatorium Hospitals Oncology Department and The Hong Kong Eye Hospital

¹⁹ Hong Kong Government welcomes Ministry of Science and Technology's announcement of series of new measures benefitting Hong Kong (September 2021), Hong Kong Government Press Release

²⁰ Promote Life and Health Scientific Research, Budget Speech, 2022-23 Hong Kong Government Budget

人工知能（AI）とロボティクス



AIとロボティクス分野での研究協力

- AIR@InnoHK研究クラスターは、AIとロボティクス技術に関する国際的な研究協力を推進しています。これらの技術のターゲットとなるエンドユーザーは、物流、製造、建設に関わる企業です

主要産業における再工業化および技術導入の支援

- 香港生産力促進局（HKPC）はトレーニング、コンサルテーション、技術サポートを提供し、企業のオートメーション化を支援します
- 香港サイエンスパークが運営するInnoParkは、インダストリー4.0技術に関連する研究開発の商業化実現のための施設を提供します
- 香港の製造業者がスマート生産ラインを導入を支援する香港政府補助金「再工業化助成スキーム」が導入されました

81%

I&Tの発展を促進するため、
香港政府は大企業と
中小企業のどちらに対しても
十分な支援を行っている

67%

大企業や中小企業の
ニーズに応えるための
公共政策（例：公共
調達）を香港政府は
導入している

スマートシティ

130以上のスマートシティ構想が盛り込まれた「香港スマートシティ・ブループリント」

2017年12月に最初に発表された「香港スマートシティ・ブループリント」に続き、2020年には最新版の「香港スマートシティ・ブループリント2.0」が発表され、130以上のスマートシティ構想により構成されています。それら構想は包括的なものとなっており、香港をデジタル化し、香港がスマートテクノロジーの主要なエンドユーザーになることへのコミットメントを示しています。

スマートエコノミー

- 研究開発と再工業化を支援
- eMPF(電子拠出型年金)や分散型台帳などフィンテックの取り組みに着手
- 紛争解決と取引のためのオンラインプラットフォームの立ち上げによるリーガルテクノロジーの導入
- 各種プラットフォームやICTバーチャルイメージ、市内全域を網羅するWi-Fi網などを含めたスマートツーリズムの確立

スマートピープル

- 世界的な大学や研究機関との連携による若い人材の育成
- I&T分野を対象とした青年インターンシップ計画やSTEM教育推進などの取り組みを通じて、革新的かつ起業家精神に溢れる文化を醸成

スマートガバメント

- 政策を通じてオープンデータの利用を推進し、公共部門と民間部門での活用を促進
- 5Gの商用化、LPWANをベースとしたGWIN (Government Wide IOT)、各種サイバーセキュリティ対策を支援するスマートシティインフラの構築

スマートモビリティ

- 電気自動車および自律走行車の普及促進
- インテリジェント輸送システムの構築
- スマートエアポートの導入
- グリーン輸送の推進

スマートリビング

- (病院管理局が運営する)「データコラボレーション・ラボ」の設立
- 電子健康記録共有システムの導入
- 遠隔医療とデジタル調剤の促進
- デジタル決済の利用を加速
- 行政サービスにアクセスするためのワンストップ型パーソナライズ・モバイルアプリ「iAM Smart」の運用開始

スマート環境

- 再生可能エネルギー、エネルギー効率化、省エネルギーを網羅する脱炭素対策の実施
- 廃棄物管理、汚染監視、スマートリサイクルを網羅したグリーンエネルギーと環境保護の取り組みを導入
- ビルのインテリジェント化と効率化の推進



中小企業が香港政府と連携し、革新的なソリューションを共創するためのプラットフォーム

サイバーポートの「スマートガバメント・イノベーションラボ」(Smart LAB)は、中小企業が技術売り込むためのプラットフォームを提供し、公共サービスに導入される可能性のあるソリューションの認知度を高めることで、中小企業の製品開発を促進するものです。

また、Smart LABは政府機関とソリューションプロバイダーが、提案された技術ソリューションの概念実証と技術試験を実施することも支援しています。

香港政府はまた、政府機関が中小企業と課題を共有し、解決策の提案を受けるためのウェブサイトを開設しています。

香港気候行動計画2050

香港政府は、2050年までに香港でカーボンニュートラルを達成するための主要な取り組みを定めた気候行動計画2050を発表しました。

香港気候行動計画2050における主要な脱炭素化戦略

廃棄物削減

2035年までに十分な廃棄物発電施設を整備、廃棄物の削減とリサイクルを推進、2023年に廃棄物課金を実施、2025年以降に使い捨てプラスチック食器を段階的に規制

ネットゼロ発電

日常的な発電での石炭使用を廃止、燃料構成における再生可能エネルギーの割合を増加、新エネルギーの利用を試験、2050年までにネットゼロ発電を達成するための長期的目標について近隣の地域との協力を強化

主要な 脱炭素化戦略

グリーン輸送

自動車やフェリーの電動化、新エネルギー輸送と交通管理の強化策を開発、2035年までに燃料使用車とハイブリッド車の個人用登録を廃止、電気バスと電気商用車を推進、水素燃料電池を利用した電気バスと大型車を試験利用

省エネとグリーンビルディング

グリーンビルディングの推進、建物のエネルギー効率の向上、低炭素型ライフスタイルの推進による建物全体の電力消費量を削減

BEAM Plus

「BEAM Plus」が提供する建物の持続可能性に関する評価基準により、香港ではグリーンビルディング業界の取り組みが支持されています。BEAM Plusは、香港グリーンビルディング・カウンスル（HKGBC）が承認および認定しており、マカオ、深圳、広州、上海、北京など香港以外の地域でも採用されています。

グリーンテック基金

脱炭素化と省エネルギー、グリーン輸送、廃棄物管理、大気質と水質に関する研究開発プロジェクトに資金を提供するため、香港政府は「グリーンテック基金」を立ち上げました。

新エネルギー輸送基金

香港政府の「新エネルギー輸送基金」は、輸送関連企業が革新的なグリーン輸送技術を試験および採用するための補助金を提供します。

「世界最大の不動産市場の一つである香港には、世界を代表する不動産デベロッパーが集まっています。スマートで持続可能な都市を構築するという香港政府のコミットメントにより、不動産デベロッパーはグリーンで持続可能なソリューションに向けての取り組みに強い関心を寄せています。その結果、グリーンな建物や技術への需要が連鎖的に高まりました。香港は、中国本土や他の国々の主要都市にとって参考となるプラットフォームとして、より一層台頭してきました」



Cary Chan
Executive Director,
Hong Kong Green Building Council

「香港政府の明確で有益な政策の導入は、香港において持続可能なグリーンテクノロジーの発展を加速させてきました。これには香港気候行動計画2050に加え、『香港クリーンエア計画2035』、『電気自動車普及のための香港ロードマップ』、『香港廃棄物ブループリント2035』などが含まれます」



Simon Ng
CEO,
Business Environment Council

情報通信技術（ICT）



データセンターと5Gの開発を支援する 有益な政策

2021年の行政長官の施政方針演説で、香港政府は5Gの周波数帯をさらに入札に出すなど、5Gの開発を引き続き推進すると発表しました。

香港政府はデータセンターの設置を奨励するため、幾つかの優遇措置を導入しました。例えば、工業用建物をデータセンターに転換する際の権利放棄手数料の免除や、工業用地で高層データセンターを開発する際のリース契約変更に伴うプレミアム（賃借料とは別に用地の賃借にあたり政府に支払う代金）の再評価を、最適な利用状況と最大の開発密度ではなく、実際の利用状況や開発密度に基づき算定するなどの措置があります。

香港は、特にアジアの他の都市と比較して、電気料金が比較的安く、データセンターのビジネス環境を魅力的にしています。

データのプライバシーと保護

香港では1996年以来、データプライバシーに関する法的枠組みが施行されており、継続的に更新されています。2021年10月に施行された「個人データ（プライバシー）（修正）条例2021」の直近の更新では、香港政府はドッキング犯罪の刑事罰化を導入しました。

包括的なデータプライバシー保護の実現は、データの可用性を高めると期待されています。ユーザーは、情報が安全に取り扱われることを知ることで、より自信を持って情報を提供することができ、これによってデータ価値の可能性が開かれるでしょう。

強固な インフラストラクチャー

ビジネス活動を支える高度なインフラ





世界有数の空港と航空貨物施設

- 国際航空貨物では世界有数の香港国際空港（HKIA）は、220以上の都市と結ばれ、120社を超える航空会社が1日1,100便以上を運航しています。
- 第3滑走路システムプロジェクトによる空港施設の拡張により、2030年までにHKIAの容量は旅客数で年間1億人、貨物量は年間9百万トンに増加する見込みです。



整備された港湾インフラ

- 高付加価値の海運サービスを提供する約900社の海運関連企業が集積する国際海運センターです。
- アジア太平洋地域の中心にある極東貿易路に位置する香港は、積み替えの地域ハブ港です。積み替え貨物はコンテナ処理量全体の60%以上を占めています。
- 香港は世界有数のコンテナ港であり、1日あたり67,000 TEU（20フィートコンテナ換算）の取り扱い能力を有します。24のバースを持ち、週320便のコンテナ船が世界約470都市へ航行しています。
- 葵青（クワイツェン）にある9つの民間コンテナターミナルは、世界で最も効率的な貨物施設の1つで、年間約1,670万TEUを取り扱っています。



中国本土とマカオにつながる陸路

- 香港の陸上検問所は10カ所あり、道路検問所が6カ所と鉄道検問所が4カ所です。
- 全長55kmの香港珠海マカオ大橋（HZMB）は、香港と珠江デルタ地域西部を3時間以内で結びます。
- 広深港高速鉄道は、香港と中国本土の複数の主要都市を結んでいます。西九龍駅から深圳までは15分かかりません。

²¹ Hong Kong Logistics Development Council – Regional Logistics Hub

²² International Transportation Centre, Hong Kong Government Policy Address (October 2021)

堅牢な通信とデジタルインフラ

香港は世界トップクラスの通信とデジタルのインフラを備えています。

クラウドコンピューティングサービスの可用性においてアジア太平洋地域で第1位の香港は²³、デジタルインフラの可用性で世界をリードし、高いアクセス性を誇ります。

一般家庭のブロードバンド普及率は100%近くに達し、高速で信頼性の高いブロードバンドアクセスにより、利用者はすぐにインターネットに接続できます。こうした環境が、技術の進歩に伴い、デジタル化経済の発展を促進します。

香港のデジタルインフラの概要^{24,25}

外部接続用の12の海底光ファイバーケーブルシステム、19本の陸上光ファイバーケーブル、10基の通信衛星が香港と世界を接続



モバイル普及率305.4%は世界最高水準（2021年7月時点）



一般家庭のブロードバンド普及率96.3%は世界最高水準（2021年7月時点）



固定ブロードバンドの平均ダウンロード速度260.35Mbpsは世界最速クラス



電力の安定供給率は、現在99.999%超



公共エリア39,000カ所で無料Wi-Fiサービスが利用可能（2020年12月時点）



さらに、香港はインダストリー4.0の様々な技術の導入に向け、5Gネットワークによる高い接続密度と帯域幅を備えています。

香港の5Gの概要：

- 香港は5Gのカバレッジで世界**第1位**、5Gネットワークの可用性で世界**第2位**²⁶
- 商用5Gサービスは香港の人口の**90%**をカバー²⁷

5Gを広く利用できる香港は、モノのインターネット（IoT）、AI、クラウド、ブロックチェーンのソリューションなどの活用理想的な場所です。



²³ 2020 Cloud Readiness Index published by the Asia Cloud Computing Association

²⁴ 2021 Policy Address, Policy Initiatives of Communications and Creative Industries Branch (2021), Commerce and Economic Development Bureau

²⁵ Office of the Government Chief Information Officer (OGCIO), Hong Kong Government

²⁶ Opensignal (2021)

²⁷ Office of the Communications Authority, Hong Kong Government

優れた医療インフラとヘルスケアシステム

香港では公立病院と民間病院を網羅するデュアルトラック医療制度が確立されています。香港の医療費の総額はアジアで最も高い水準にあり、2019-20年度は約1,900億香港ドルに上りました。²⁸

ヘルステクノロジーの積極活用と研究施設

2020年末時点の主な統計



デジタルヘルスケアと医療システム

香港の電子カルテ共有システムは、域内全体を対象とした患者志向の電子共有プラットフォームです。公立および民間の医療従事者が、（各患者の同意の下で）患者の電子カルテにアクセスできます。

スマートホスピタル

天水圍病院、將軍澳病院およびクイーンエリザベス病院の3つがスマートホスピタル化の試行対象となっています。胸部X線の異常を検出するAIアプリケーション、診察やモニタリングのための遠隔介護アプリケーション、病院の日常業務を行うロボットなど、技術アプリケーションを試験利用しています。

認定臨床試験施設

香港の4つの病院²⁹ は、中国の国家薬品监督管理局から第1相臨床試験の認可を受けています。香港での臨床試験データは、米国と欧州の規制当局にも認められています。

香港初の中医学病院

スマートテクノロジーを装備した香港初の中医学病院が2024年に開業する予定です。

²⁸ Health Facts of Hong Kong, 2021 Edition, Department of Health, Hong Kong Government

²⁹ The Clinical Research Management Office at The Chinese University of Hong Kong, The Clinical Trial Centre at the University of Hong Kong, The Hong Kong Sanatorium Hospitals Oncology Department and The Hong Kong Eye Hospital



共同研究

世界トップレベルの大学と人材が、
I&T分野のコラボレーションを実現

一流の研究者と人材が揃う研究開発都市

世界の大学ランキング上位100校に、香港の5つの大学がランクインしています。³⁰ 2019年以降、その順位は学術成果の向上により上がっています。

I&T分野の注目ランキング

2021年QS世界大学総合ランキング³¹

	電気・ 電子工学	機械工学	コンピュータ サイエンス& 情報システム	材料科学	医学
香港大学 (HKU)	36	59	43	61	39
香港科技大学 (HKUST)	20	28	30	16	-
香港中文大学 (CUHK)	65	145	31	50	40
香港城市大学 (CityU)	72	127	68	25	>400
香港理工大学 (PolyU)	92	98	120	-	-

香港の大学には国際的に通用する一流の研究者が揃い、その多くが世界的な評価を受けています。

Clarivate Analyticsの「高被引用論文著者」リストに掲載されている香港の研究者数は着実に増え、2021年には79人に達しています。³²

香港中文大学の
化学病理学部長 Dennis Lo教授は、
複数の遺伝子疾患に対する非侵襲性
出生前検査の開発における先駆者で、
2021年のブレイクスルー賞（生命科学）
を共同受賞した

香港中文大学の
臨床腫瘍学部長
Tony Mok教授が中心となり、
肺がんの個別化治療における
世界基準を確立した

76%

適切な資格とスキルを備えた
I&Tと研究分野の人材が
香港内ではすぐに見つかる
と考えている

³⁰ The University of Hong Kong (HKU), The Hong Kong University of Science and Technology (HKUST), The Chinese University of Hong Kong (CUHK), City University of Hong Kong (CityU) and The Hong Kong Polytechnic University (PolyU)

³¹ QS World University Rankings by Subject 2021

³² Annual Highly Cited Researchers List (2021), Clarivate



InnoHK

InnoHKの取り組みは、香港内外の一流大学を集め、香港サイエンスパークで最先端の研究を行うものです。この取り組みは様々な研究クラスターで構成され、それぞれに独自の研究テーマがあります。2022年1月現在、InnoHKのクラスターは2つあります。

Health@InnoHK – 生命健康科学関連の研究に特化した研究開発拠点

Health@InnoHKは、創薬、個別化医療、分子診断、バイオエンジニアリング、ケミカルバイオロジー、バイオインフォマティクス、ワクチン開発、医療計測の分野に携わっています。

AIR@InnoHK – AIとロボティクス技術に特化した研究開発拠点

AIR@InnoHKは、金融サービス、スマートシティ、先進製造など幅広い産業分野での応用を目指し、ビッグデータ解析、機械学習、認知システム、知的エージェント、医療用ロボットおよびその他のロボティクスの研究開発を行っています。

InnoLife@HSITP – 北部都会区における生命健康科学の研究開発拠点

InnoLife Healthtech Hubは、落馬洲ループの香港・深圳イノベーションテクノロジーパーク（HSITP）内に設置が計画されています。

InnoHK研究クラスターに現存する16の生命健康関連の研究所と、ヘルスケア分野に関連する8つの主要な国家研究機関が入居する予定です。

多文化で多言語のI&T人材プール

多言語人材

香港の人材の多くはトリリンガルで、広東語、英語、北京語をビジネスで使いこなすことができます。また、上位の大学では英語で指導し、外国人が勉強や研究しやすい環境となっています。

世界で最も文化的多様性のある大学

世界で最も国際的な大学として、香港大学は第1位、香港中文大学は第3位にランクインしています。³³ 香港の多文化の環境は、多様でインクルーシブな特性を育み、このことがイノベーションの重要な原動力となっています。

即戦力人材

高度なスキルを持つ香港の人材は、世界的に評価されています。2021年に、香港の人材プールは科学分野の卒業生の割合³⁴と人材の即戦力レベル³⁵において世界第1位となりました。

香港の大学は、ICT分野で年間2,300人以上の卒業生を輩出しています。香港のICT専門職の総人数は2018年に95,700人を超え、その約3分の1がソフトウェアの設計と開発を専門としています。³⁶



³³ Times Higher Education Most International Universities in the World 2021

³⁴ Scientific disciplines include ICT, Engineering, Mathematics and Natural Sciences

³⁵ IMD World Talent Ranking 2021

³⁶ Hong Kong – An ICT Hub, OGCIO



グローバルな人材プールの活用

香港は優秀な研究人材を引き寄せ続けています。「科学技術優秀人材入境計画」(TechTAS)を通じ、対象分野の企業はビザのファストトラック申請によってより迅速に、海外や中国本土から研究開発人材を雇用および確保することができます。対象分野には、AI、バイオテクノロジー、サイバーセキュリティ、ロボティクス、5G、IoT、マイクロエレクトロニクスなどがあります。

さらに「グローバルSTEM教授招致計画」は、世界的に著名なI&T分野の研究者に対して、魅力的な報酬と助成金を供与します。³⁷

香港の大学は、中国本土の大湾区都市の高等教育機関と緊密な協力関係にあります。5つの大学(HKUST、HKU、CUHK、CityU、PolyU)はすでに本土の大湾区都市に研究機関を設立しています。

これらの大学は、深圳、広州、東莞、仏山などの都市に分校を開設する予定です。これにより、クロスボーダーの研究開発協力が促進され、香港企業は大湾区の人材プールを活用しやすくなります。

右のQRコードをスキャンして「科学技術優秀人材入境計画」の詳細をご覧ください



³⁷ STEMは、science, technology, engineering と mathematics の略称。

PHASE Scientific — 香港はヘルスケア関連の研究と 臨床試験の世界的拠点

バイオメディカル&
ヘルスケア

2015年に設立されたPHASE Scientificは、新しい健康のあり方を提案するバイオテック企業として高成長を遂げています。誰もが自分の健康について最良の知識を得られるべきと同社は考え、自身の健康をより深く理解することを可能にする革新的な診断とデータツールの開発を通じ、患者や医療従事者の支援に注力しています。

同社は低濃度の標的分子検出の難しさを克服するため、新たなサンプル調製方法を開発しました。この独自技術は標的分子を抽出して元の量の10倍から100倍に濃縮することで、分子を検出しやすくし、診断の様々な分野を変革できる可能性を秘めています。またこの技術は、より高品質なサンプルを作製することで、各種診断プラットフォームの精度、効率、スピード、コストを改善できます。

2020年初めに新型コロナウイルス感染症が発生した際、同社は迅速かつ正確な診断用の検査手段を提供しようと決意し、そのコア技術を活用することで、サンプル採取、ウイルスRNA抽出、核酸検出、抗体および抗原の迅速検査など、一連の診断用製品を開発しました。

感染力の強いオミクロン変異株を中心とした新たな感染の波が発生し、世界では感染拡大抑制のために迅速かつ繰り返しの検査が必要になりました。同社の「INDICAID®迅速検査キット」は、この種の製品としては中華圏で初めて米国FDAからも緊急使用が承認され、香港や海外でも広く採用されています。

同社の革新的な技術は、がんの早期発見のためのリキッドバイオプシーや感染症の簡易迅速検査（POCT）に応用できます。

スタートアップとして、同社は既成概念にとらわれず、常に困難な状況に対応する方法を模索しながら前進しています。

「優れた自己検査ツールと、利用しやすいセルフモニタリング用の健康データを提供できれば、診断業界に革命を起こして医療管理の在り方を見直し、治療から予防へと重点を移すことができます。これが当社の究極の使命です」

「私たちPHASE Scientificは、自社のリソースと技術ノウハウを活用し、常に問題解決に努めています。例えば、コロナの感染拡大のさなか、当社は迅速検査の開発者、コミュニティ検査サービスのプロバイダー、検査政策の立案者、遠隔医療の提唱者と、複数の役割を担いました。パンデミックのそれぞれの段階を注視し、その時々で人々のニーズを満たす最善の方法を考え、そして柔軟な発想で解決策を検討しました」



Ricky Chiu
Chairman and CEO,
PHASE Scientific

海外の人材や投資に対する香港のオープンさは、香港でのイノベーションと技術開発の発展に繋がっています。同社はこうした環境から大きな恩恵を受けています。人々が健康についてより良い判断や行動ができ、変化を促せるよう、同社はバイオテックにおける優れた強みを生かし、香港というこの戦略的地域で今後も卓越性を追求し、新しい健康のあり方に大きなインパクトを与えていきたいと考えています。

HONG KONG AEROSPACE TECHNOLOGY GROUP (HKATG) — 香港初の商業航空宇宙企業

2019年に設立されたHong Kong Aerospace Technology Group（証券コード：1725）は、衛星リモートセンシング、衛星製造、衛星ナビゲーションおよび衛星通信に特化した香港初の商業航空宇宙企業です。

同社はその代表的プロジェクト「Golden Bauhinia Constellation」を通じて航空宇宙事業を展開しています。大湾区の上空に低軌道かつ高周波の衛星を飛ばして生態データの収集を支援し、スマートシティの構築を加速させます。同プロジェクトは、衛星によるビッグデータの応用とソリューション、衛星からの観測と制御、衛星の製造と打ち上げを通じ、スマートシティの実現を支えます。2021年末時点で、同社はすでに5機の衛星を打ち上げました。

同社は香港の大学と連携し、様々な研究開発に取り組んでいます。同社はまた、將軍澳工業園地にある香港サイエンスパークの先進製造センター（AMC）に、3フロアで総面積約19万平方フィートの衛星製造拠点を建設中です。ここでは衛星のモニタリングや運用管理、衛星用のアプリケーションやデータセンター活動、そして研究開発をサポートする予定です。

同社は子会社のSZ Gang Hang Keを通じて、China Great Wall Industry Corporation（CGWIC）と衛星打ち上げサービスの確認契約を結んだことを最近発表するなど、Golden Bauhinia Constellationプロジェクトの拡大ペースを加速しています。

「当社の重要な戦略的優先事項の1つとして、研究開発能力を引き続き強化することで、より多くの商機を開拓していきます。当社は衛星の製造と打ち上げ、衛星ビッグデータの応用などの分野で、香港のトップ5大学と緊密な協力関係を築いています。こうした協力は、香港の研究開発の深い専門知識を活用することを可能にし、当社のイノベーションの歩みを加速させています」

「香港には様々な競争優位性がありますが、特に税制面が顕著です。香港は国際センターであり自由貿易港でもあるため、輸出入に関税はかかりません。さらに、売上税や付加価値税もなく、地元企業にはインセンティブとなる法人税の各種優遇措置も提供されています」



Sun Feng Quan
Chairman,
Hong Kong Aerospace
Technology Group

高度な研究施設

最先端の研究開発（R&D）施設



香港サイエンスパーク（HKSTP）

「私たちは研究開発やイノベーション、市場開拓の支援を通じ、HKSTPのエコシステム内で活動するビジョンを持った起業家やI&T企業が未来を切り開くお手伝いをしています。

バイオテック分野でアジア最大かつ世界有数の資金調達拠点である香港の利点を活かし、香港がバイオテックとAI分野の研究開発とイノベーションの世界的リーダーに昇華できるよう、香港政府と積極的に協力しています。政府が主導するバイオテックとAIの2つのInnoHKリサーチクラスターはHKSTPに設置されており、それらは世界クラスの研究と実用化を牽引し、香港内外の人材の深い技術交流を促進し、そして私たちのI&Tエコシステムをより大きく、より強力にすることに貢献しています。

I&T企業とHKSTPのエコシステムの成功を20年にわたり後押ししてきた現在、多くの香港発のユニコーン企業の出現、技術系スター

トアップへの投資や取引の増加、そして研究開発人材の急増といった成果を誇らしく思っています。新たな10年に向け、HKSTPの深圳分園において香港と大湾区の技術系ベンチャーが投資を惹き付け、事業を拡大させるサポートをすることで、私たちのエコシステムは今後は香港から大湾区に拡大し続けるでしょう。

私たちは起業家やI&T企業と共に、香港からその先の世界へ、より多くのイノベーションを市場での成功に繋げていきます」



Albert Wong
CEO,
Hong Kong Science &
Technology Parks Corporation

HKSTP早わかり³⁸

2001年に香港政府が設立した
**香港最大の
研究開発拠点**

33万平方メートル
の研究開発用の
オフィスとラボが
イノベーションと起業
のために利用可能

インキュベーション
プログラムの修了企業
850社以上

**AIとロボティクス、
生物医学、データ、
スマートシティ、フィン
テック**を重点分野
とする学際的なハブ

入居企業による
2018/19年度以降
の累計資金調達額
330億香港ドル

官民
パートナーシップ
200以上

2021年12月時点で
I&T企業**1,000社**、
コミュニティ人口
16,000人以上
(うち研究開発従事者
11,000人)

入居企業はパーク内の最先端の
ラボとコワーキングスペースを手ごろな
費用で利用可能。資金については、
HKSTPベンチャーファンドから直接、
または他の資金源から間接的に
調達する機会あり

30億香港ドル
をHKSTPの研究開発エリアの拡張の
ために2020/21年度政府予算で確
保。拡張の結果、より多くの企業が
HKSTPのエコシステムに参加可能に
なり、既存の参加企業も新規に参加
する企業も恩恵を享受できる

³⁸ HKSTP – Our Impact

香港にはInnoParkと呼ばれる工業団地が複数あり、研究開発の成果を製品にするためのエンドツーエンドの製造設備を備えた産業用スペースを提供しています。

HKSTPが運営するInnoPark³⁹

將軍澳（チョンクワンオウ）InnoPark (75ヘクタール)	元朗（ユンロン）InnoPark (67ヘクタール)	大埔（タイポー）InnoPark (75ヘクタール)
重点分野: ・海洋アクセス – 將軍澳の海岸エリアを利用するプロジェクト ・バース施設を使用する重工業、軽工業（商用製造業）、ITとICT関連サービス業 重要インフラ: ・データテクノロジーハブ ・先進製造センター	重点分野: ・医薬品とバイオ医薬品生産 ・深圳湾港や落馬洲検問所との近さを活かしたクロスボーダービジネス 重要インフラ: ・マイクロエレクトロニクスセンター	重点分野: ・食品製造 ・メディアサービス ・ライフスタイル製品 重要インフラ: ・精密製造センター ・MARSセンター

主要インフラストラクチャーの詳細

データテクノロジーハブ（DT Hub）

2016年に設立されたDT Hubは、ICTとデータ系の企業のための拠点です。香港の最先端のデータセンター群の中に戦略的に配置され、入居企業はクラウドコンピューティング、ホスティングサービス、5G、IoTの分野で成功している企業と連携することができます。DT Hubはデータ系企業向けに最先端インフラの提供に加え、資金調達支援、人材獲得機能、事業拡大ノウハウなどの付加価値サービスも提供します。

先進製造センター（AMC）

將軍澳工業団地にある広さ110万平方フィートのAMCは、2022年に開設されました。AMCは技術革新と、高付加価値で高度にカスタマイズされた生産活動向けに、充実した設備と拡張性、各種の付帯サービスを有した製造スペースを提供します。規模の大小を問わず、すべての製造業者はこれらの先進施設を利用し、アイデアの製品化を少量のカスタマイズ生産を実現できます。これは生産サイクル全体の短縮に繋がります。

マイクロエレクトロニクスセンター（MEC）

2023年に開設予定のMECは、先端半導体、スマートセンサー、電子機器、スマートパワーデバイスなどの電

子通信製品の開発と製造に特化した総工費200億香港ドルの施設です。2階建ての総床面積36,180平方メートルのMECには、高レベルのスーパークリーンルーム、危険物保管スペース、試験と認証用の共用ラボなどの最新鋭の設備が完備されます。また、必要なものをすべて備えた総合的エコシステムの実現のため、共用ワークスペース、オフィス、会議室も備わっています。

精密製造センター

精密製造センターは、精密工学と組立て、新素材の製造、環境にやさしい紡績、工作機械製造や高度な室内水耕栽培などの施設を事業者提供します。

MARSセンター

MARSセンターは総床面積18,629平方メートルで、医療機器付属品、医療機器材料、高精度な製造が必要な健康器具の製造設備を備えています。



³⁹ HKSTP – InnoPark Innofacturing Tomorrow

「HSITPは香港と深圳のI&Tコミュニティの連携を深めるため、北部都会区の落馬洲ループに設立されます。87ヘクタールのパーク内では、ヘルスケア、ビッグデータ、AIとロボティクス、その他様々な分野の研究開発活動が行われる予定です。香港と大湾区の成長エンジンとしてのI&Tの重要性を考えると、このパークの新設は今は絶好のタイミングです。同時に、世界的な研究開発機関やテクノロジー企業が、香港に研究開発拠点を置く必要性を感じています。香港の国際的なビジネス環境、質の高い

各種専門サービス、そして成熟した金融システムは、そうした企業に事業活動を行うためのワンストップのプラットフォームを提供します」



Patrick Siu
CEO,
Hong Kong-Shenzhen Innovation
and Technology Park



HSITPは北部都会区におけるI&Tに特化した新しいサイエンスパークです。中国本土の大湾区都市が有する巨大な潜在市場と幅広い製造能力を企業が活用できるようにするため、HSITPは深圳と隣接する落馬洲ループに戦略的に立地します。HSITPが主にターゲットとする技術分野は、ヘルスケア技術、ビッグデータとAI、ロボティクス、新素材、マイクロエレクトロニクス、フィンテックなどです。

敷地は、67棟を擁する総面積120万平方メートルを計画しています。現在、床面積11万7,000平方メートルを有する最初の8棟を建設中で、2024年末に完成予定です。ビル群は段階的に建設され、第1期の3棟には2つのウェットラボとイノベーション施設、およびそれらの付帯施設を収容します。第2期は2つのウェットラボに加え、3つのオフィスとドライラボを設けます。

⁴⁰ Shenzhen-Hong Kong Innovation and Technology Co-operation Zone (2021), Hong Kong Government Press Release

サイバーポート

「香港のI&T分野は、大きな成長の可能性を秘めています。香港はアジアの中心に戦略的に位置し、RCEPやCEPAなどの協定を通じて大きな優位性に恵まれています。さらに、第14次5カ年計画に明記された通り、香港を国際的なI&Tハブにするための中国中央政府の支援は、I&T企業の起業と成長、繁栄に理想的な環境である香港の地位を確固たるものにしていきます。香

港は中国本土の他の大湾区都市に近接しているため、外国企業が大湾区と中国本土の巨大な市場ポテンシャルを捉える際の足がかりとなります」



Peter Yan
CEO,
Cyberport

サイバーポート早分かり^{41,42}

2002年に香港政府により香港島に設立

I&Tの多国籍企業
(マイクロソフトを含む)
と香港生まれの企業
(Klookなど)
1,700社以上

フィンテック、スマート
リビング、デジタルエンター
テインメント分野で
ユニコーン企業5社
をインキュベート

フィンテック、
スマートシティ、デジタル
エンターテインメントと
eスポーツ、サイバーセキュリ
ティ、AI、ビッグデータ、
ブロックチェーン
を重点分野とする
学際的なハブ

累計資金調達額
157億香港ドル

4棟にまたがる
98,000平方メートルの
グレードAオフィスと
スマートワーキングスペース。
建設中の新ビル「サイバー
ポート5」で36,000平方
メートルのオフィスとワー
キングスペースを増設

サイバーポートの
投資家ネットワークの
メンバー企業と個人
100以上

サイバーポート・
インキュベーション
プログラムとマイクロファ
ンドの支援や資金提供を
受ける企業
226社以上

先進的設備と業界で
認められたインフラストラク
チャー・アズ・ア・サービス
(IaaS)、ソフトウェア・
アズ・ア・サービス
(SaaS)を提供する
ハイブリッドクラウド
プラットフォームを備えた
テクノロジーセンター

⁴¹ Cyberport – About Cyberport

⁴² Cyberport Expansion Project (2021), Southern District Council (SDC)

研究開発センター

応用研究開発のために政府が設立した5つの研究センター



AUTOMOTIVE PLATFORMS AND APPLICATION SYSTEMS R&D CENTRE

(APAS 自動車技術研究開発センター)

重点分野は自動車、特にグリーン輸送、スマートモビリティ、インテリジェントシステム



LOGISTICS AND SUPPLY CHAIN MULTITECH R&D CENTRE

(LSCM ロジスティクス・サプライチェーン技術研究開発センター)

重点分野はロジスティクス、サプライチェーンマネジメント、eコマース



HONG KONG APPLIED SCIENCE AND TECHNOLOGY RESEARCH INSTITUTE

(ASTRI 香港応用科学技術研究所)

重点分野はスマートシティ、フィンテック、インテリジェント製造、デジタルヘルス、特定用途向け集積回路 (ASIC)



NANO AND ADVANCED MATERIALS INSTITUTE

(NAMI ナノ先端材料研究開発所)

重点分野は建設、エレクトロニクス、エネルギー、環境、ヘルスケアなどの分野に応用するナノテクノロジーと先端素材



HONG KONG RESEARCH INSTITUTE OF TEXTILES AND APPAREL

(HKRITA 香港繊維アパレル研究開発センター)

重点分野は繊維とファッション業界向けの高付加価値製造とサービス活動

「香港の優れた研究開発能力と、中国本土の大湾区諸都市との近接性は、香港を新しい最先端技術やI&T関連サービスを試せる理想的な場所としています。さらに、本土市場に進出するテクノロジー企業にとって、香港は戦略的な立地にあります。ASTRIは業界関係者や公的機関と協力し、最先端のイノベーションの創出に注力しています。また、スマートシティ、フィンテック、インテリジェント製造、デジタルヘルス、ASICなどの分野の研究活動とその成果の活用の推進に取り組んでいます」



Lucas Hui

Chief Technology Officer,
Hong Kong Applied
Science and Technology
Research Institute (ASTRI)

「香港は5G/6Gと、スマート輸送やロジスティクスを含むスマートシティ技術において、高い研究能力を有します。香港は外国企業が中国本土市場に参入するにあたり、技術のユースケースを検証する試験場にもなりえます」



Simon Wong

CEO,
Logistics and Supply Chain
MultiTech R&D Centre (LSCM)

「研究所と産業界の連携が、優れたイノベーションの成果をもたらすことが香港では証明されています。NAMIはこれに共感し、様々な業界関係者や公的機関と連携し、共同研究開発やイノベーションプロジェクトを進めています。

香港政府は資金助成制度を通じて、そのような連携をさらに奨励しています。例えば、イノベーション・テクノロジー支援プログラム（ITSP）やパートナーシップ研究プログラム（PRP）では、連携相手の企業は研究開発費のキャッシュバックや税額控除を受けられます」



Ivan Sham
Chief Commercial Officer,
Nano and Advanced
Materials Institute (NAMI)

香港政府は応用研究開発プロジェクトでの協業を促進するため、共同資金拠出プログラムを実施しています。これらのプログラムを通じて、産業界の企業は地域の研究機関（公的研究機関や研究開発センター）と提携して研究を行えます。企業側は提供する研究開発資金の割合に応じて、知的財産権（IP）を得ることができます。



イノベーション・テクノロジー基金（ITF）による共同資金拠出プログラム⁴³

プロジェクトタイプ	プロジェクト総費用に占める 企業側からの資金拠出の割合	企業側のメリット
コラボレーション型	公的研究機関または研究開発センターに50%以上拠出	IPの所有権を企業が保有
	研究開発センターに30～50%拠出	有期の独占的IP使用权が企業に付与される
プラットフォーム型	公的研究機関または研究開発センターに10%以上拠出	IPの権利は研究機関側に帰属するが、研究機関側はその知識を企業に提供または移転する

⁴³ Innovation and Technology Fund – About the Innovation and Technology Fund

香港生産力促進局（HKPC）

HKPCはIoT、ビッグデータ解析、AI、ロボティクスなどの先端技術を導入し、企業の再工業化を支援する様々なサービスを提供しています。



HKPCのサービス内容⁴⁴

中小企業とスタートアップの支援

資金調達スキーム、技術移転、市場インサイト、ビジネストrendに関する中小企業向けのセミナーや支援などを含むアウトリーチ活動、展示会、セミナーの実施

デジタル化とサイバーセキュリティ

「情報セキュリティサミット2021」などのイベントを通じて、バリューチェーン全体の品質向上や価値創造に繋がるデジタル技術の活用で香港の産業界を支援

将来のスキル

技術知識からコミュニケーション、マネジメントまで14分野での幅広いトレーニングプログラムをHKPCアカデミーを通じて提供

HKPC のビジョン

イノベーション、応用技術、価値創造の中心的イネーブラーおよびカリストになり、香港が国際的なI&Tハブであることを支えるべく、社会、経済、環境の各分野で恩恵をもたらす

再工業化の促進

再工業化テーマホールの立ち上げにより再工業化のベストプラクティスやリソースを紹介するなど、新技術を用いたスマート製造への更新と転換で企業を支援

インテリジェント製造

産業向けIoTやリアルタイム可視化などの技術導入による生産ラインの更新とインダストリー4.0の実施で企業を支援

スマートリビングとグリーンリビング

スマートビルディングやグリーンビルディングに関する技術研究やコンサルティング事業を実施。リサイクル基金やクリーナー生産パートナーシッププログラムなどの公的資金支援スキームの事務局機能を提供

「HKPCは大企業、中小企業、そしてスタートアップ企業すべてにとって信頼できるパートナーです。私たちの幅広い技術関連サービスは、生産性の向上とコスト効率の改善に貢献し、企業の市場競争力の強化に役立ちます」



Lawrence Cheung
Chief Innovation Officer,
Hong Kong Productivity Council (HKPC)

⁴⁴ HKPC Annual Report 2020-21

Microsoftは、人と企業がその可能性を最大限に発揮できるようサポートするソフトウェア、サービス、ソリューション分野のグローバルリーダーです。同社は2010年にMicrosoft Azureを公式リリースして以降、アジア、北米、欧州など複数の地域でクラウドコンピューティングサービスを顧客に提供しています。

同社は1991年から香港で事業を展開してきました。香港への継続的な投資の一環として、2002年にサイバーポートのアンカーテナントとなり、香港での全事業をこの新しいスペースに移転させました。2007年にはオフィスさをさらに70%拡大し、総床面積は約80,000平方フィートに及びます。現在、Microsoft香港法人は300人以上の従業員を擁し、香港の2,600社以上のソフトウェアサービスベンダーをサポートしています。

同社は2010年に香港ではいち早く大規模データセンターを設置し、以来、香港で同社のクラウド機能が提供されています。近年では、2021年にAzure可用性ゾーンを拡張するなど、地元企業向けのクラウド機能を強化する投資を増やしています。現在、ハンセン指数構成企業の90%がMicrosoft Cloudを利用しています。

Microsoft香港法人は新型コロナウイルスのパンデミック期間中に、同社のテクノロジーとプラットフォームを通じて、地元企業がデジタルトランスフォーメーションを加速させることに協力しました。例えば、小規模なレストラン向けにオンライン注文とデリバリー機能を提供したり、クラウドベースの授業運営で学校をサポートしたり、といったことを行いました。

また同社は1999年から、香港の大学と次のような学術提携を行っています。香港中文大学-教育省-Microsoftヒューマンセントリックコンピューティングとインターフェイス技術研究室、情報技術を対象としたMicrosoft-香港科技大学共同研究室、香港理工大学-Microsoftスマートコンピューティング研究室とMicrosoft-香港城市大学電子工学共同研究室を立ち上げ、そして2018年に香港大学とAI研究パートナーシップの覚書を締結しています。

「香港の確立された法制度と強固なIP保護、そして国際的な大学群が、最先端の研究開発活動を促進する包括的なエコシステムを構築しています」

「Microsoftは1991年以来、香港に深く根ざし、香港企業によるデジタルトランスフォーメーションやその進展を、当社のインフラとテクノロジープラットフォームを通じて支援してきました。私たちは香港のI&T分野に大きな可能性を見出し、香港を世界有数のデジタル都市に発展させようと力を尽くしています」



Cally Chan

General Manager,
Microsoft Hong Kong
and Macau

香港の大学には先進的な研究室や設備が整い、外部ユーザーも利用可能

香港の大学にある数多くの高度な研究開発設備は、外部のユーザーにも開放されているため、企業は最小限のコストで研究開発を行うことができます。

外部ユーザーが利用可能な大学内の施設や技術サービス

生命健康科学

外部ユーザーが利用可能な設備やサービスがある施設：

- 香港大学 第1相臨床試験センター
- 香港中文大学 第1相臨床試験センター
- 香港理工大学 ライフサイエンス研究施設
- 香港大学 LKS医学部パノミックサイエンスセンター



AIとロボティクス、スマートシティ

外部ユーザーが利用可能な設備やサービスがある施設：

- 香港科技大学 ナノシステムファブリケーション施設（NFF）（CWB）研究室
- 香港中文大学 マイクロ・ナノファブリケーション研究室
- 香港理工大学 材料特性評価・デバイスファブリケーション研究施設

資金調達のしやすさ

幅広い金融サービスと
資金調達支援



確立した金融システムが資金調達をサポート

香港－アジアの国際金融ハブ



国際標準に準拠した透明性の高い
規制の適用



香港証券取引所の時価総額は
アジアで**第3位**、世界で**第6位**⁴⁵



2021年のIPO資金調達額は第4位で
総額3,310億香港ドル⁴⁶



新興・革新産業の資金調達を促す
SPAC上場制度の導入⁴⁷



アジア最大かつ世界第2位の バイオテクノロジーの資金調達拠点

新しい上場規則である Chapter 18A により、収益
を生み出す前段階のバイオテック企業が海外の資本
や投資家にアクセスできるようになりました。

2018年の Chapter 18A 導入以降:

IPO資金調達額

ヘルスケア・バイオテック上場企業

92社 **2,550億**香港ドル

収益を生み出す前段階の

バイオテック上場企業

(Chapter 18Aを適用) **1,130億**香港ドル

48社

2021年12月現在:HKEX

「香港のバイオ医学、ヘルスケア市場には
大きな可能性を感じます。まず香港には、
基礎医学や橋渡し研究を専門とする
一流研究者が数多くいます。さらに、医療
エコシステムが確立しており、企業にとって
臨床試験の実施に最適な場所の1つでも
あります。最後に、香港は中国本土に近
いという戦略的立地にあり、研究者は中
国本土の成熟した製造力によって技術を
実用化することができます」



Simone Song
Founder,
ORI Capital

⁴⁵ Largest Stock Exchange Operators Worldwide as of October 2021, by Market Capitalisation of Listed Companies (2021), Statista

⁴⁶ HKEX Annual Report 2021

⁴⁷ SPACとは、Special Purpose Acquisition Companies（特別買収目的会社）

I&T企業に対する香港政府による積極的な助成

イノベーション・テクノロジー基金（ITF）は、香港政府の創新科技署（Innovation and Technology Commission）が運営する基金で、香港のイノベーションの促進と企業の技術レベルの向上を目的としています。ITFには、研究開発活動の支援、技術導入の促進や技術系スタートアップの奨励のためのイニシアチブなど、複数の助成プログラムがあります。

研究開発支援は、産学連携を促進する2種類の事業で構成されています。プラットフォーム事業（産業界からの10%以上の出資）と共同事業（産業界からの50%以上、または研究開発センター事業の場合は30%以上の出資で、業界企業がIP権を取得）です。

79%

ITFは、魅力的な政府出資制度だ

スキャンしてITFの
助成プログラムの
詳細をご覧ください。



ITFが提供する助成プログラムまたは助成計画

目的	イニシアティブ	主な特徴
研究開発 の支援	イノベーション・テクノロジー支援 プログラム（ITSP）	- 研究開発機関、香港の大学やその他の指定公共研究機関による応用研究開発プロジェクトを支援 - 研究開発機関が行うシードプロジェクトには、最大280万香港ドル、その他の申請者が実施するものには140万香港ドルの支援を提供
	本土-香港共同助成計画 （MHKJFS）	中国本土と香港の協力に基づくプラットフォーム開発と共同研究開発プロジェクトを支援
	広東-香港技術協力助成計画 （TCFS）	香港と深圳または広東省が協力するプラットフォーム開発と共同研究開発プロジェクトを支援
	パートナーシップ研究プログラム （PRP）	研究開発機関またはその他の指定公共研究機関との共同研究開発プロジェクトに対し、一部助成
	企業支援計画 （ESS）	- 香港企業の研究開発業務に対し、助成金（政府助成：企業負担＝1：1）を提供 - 研究開発プロジェクト1件につき、最大1,000万香港ドルの助成
	研究開発費キャッシュバック計画 （CRS）	政府助成（ITF）の研究開発プロジェクト、または指定研究機関で実施されるプロジェクトの適格支出に対して40%のキャッシュバック
技術導入 の促進	科学技術証票プログラム （TVP）	- 香港企業がビジネスプロセスを強化するための技術サービスやソリューションの導入を支援 1企業・団体あたり、最大60万香港ドルまで助成
	再工業化助成計画 （RFS）	- スマート生産ラインの新設に対し、企業にマッチング助成金（政府助成：企業負担＝1：2）を提供 - プロジェクト1件につき最大でプロジェクト総費用の3分の1、または1,500万香港ドルのいずれか低い額

香港政府によるセクター別助成

企業は多くのセクター別助成が利用できます。



5G早期展開のための助成制度

香港の通信事務管理局（OFCA）が開始した、5G導入関連で承認を受けたプロジェクト費用の50%（上限50万香港ドル）を事業者に助成



グリーンテック基金

香港の低炭素化を進め、環境保護を強化する脱炭素とグリーンテクノロジーの研究開発と応用への資金提供。脱炭素、省エネルギー、グリーン輸送、廃棄物管理、大気・水質などを扱うプロジェクトを優先的に採用



スマート交通基金

通勤の利便性を高め、輸送効率を上げ、交通安全を向上させる自動車関連技術を研究する地域の団体や企業への資金提供。民間事業者は、本基金を通じプロジェクト費用の最大50%までの資金を受給可

香港成長ポートフォリオによる 戦略的ハイテクファンド

テクノロジーに投資し、戦略的価値をもたらし、香港のI&Tエコシステムを充実させるために政府が設立したファンド。HKSTPと香港サイバーポートが潜在力の高いI&Tスタートアップを選定することになりました。⁴⁸

73%

香港政府は、企業や中小企業に対する助成を受けやすくしている



スタートアップのための アクセラレーター・ インキュベーション支援

香港では、香港サイエンスパーク、香港サイバーポート、大学、民間団体を通じて、様々なアクセラレーター・インキュベーションプログラムが提供されています。

さらに、StartmeupHK⁴⁹は、海外や中国本土の革新的でスケラブルなスタートアップの創業者に、香港での設立や進出のためのワンストッププラットフォームを提供しています。

⁴⁸ Support Start-ups and Technology Investments, Budget Speech, The 2022-23 Budget

⁴⁹ 2013年に立ち上げられたStartmeupHKは、海外企業の香港進出を支援する香港政府部局であるインバスト香港の一部門です。

HKSTPプログラム

HKSTPは、様々な事業段階のスタートアップに対して、主に4つのインキュベーション・アクセラレータープログラムを提供しています。これらのプログラムは、助成金、研究開発支援、メンターシップ、投資家のマッチングなど、包括的なサービスにより構成されています。また、スタートアップはHKSTP内の専門ラボ、会議室やその他の施設が利用できます。

	アイディエーション	インキュベーション	アクセラレーション	エリート
期間	1年	一般的なスタートアップ: 3年 バイオテックスタートアップ: 4年	2年	3年
助成金	10万香港ドルまで	一般的なスタートアップ: 130万香港ドルまで バイオテックスタートアップ: 600万香港ドルまで	480万香港ドル	2,150万香港ドルまで
企業評価額	—	500万米ドルまで	500万米ドル— 5,000万米ドル	500万米ドル— 1,000万米ドル
設立年数	2年以内	一般的なスタートアップ: 5年以下 バイオテックスタートアップ: 2年以下	制限なし	2年以上前

HKSTPは、業界企業との提携による独自の共同インキュベーションプログラムも用意しています。例えば、腫瘍分野に特化したバイオ医学のスタートアップを対象とするHKSTP-AstraZenecaコインキュベーションプログラムや、診断と体外診断用医薬品（IVD）のスタートアップを対象とするHKSTP-KingMedイニシアチブなどがあります。

スキャンして
HKSTPのインキュ
ベーションプログラ
ムの詳細をご覧ください。



香港サイバーポートプログラム⁵⁰

香港サイバーポートは、事業ライフサイクルの様々な段階にあるスタートアップを支援するため、豊富な助成スキームを提供しています。各助成スキームには、無料のワークスペースの利用、トレーニングやメンターシッププログラム、ネットワーキングの機会などの追加特典が含まれています。

	サイバーポート クリエイティブ マイクロファンド	サイバーポート インキュベーション プログラム	サイバーポート アクセラレーター サポート プログラム	市場開拓 サポート スキーム	サイバーポート マクロファンド
期間	6ヶ月	2年	—	2年	—
資金 支援	10万香港ドルまで	50万香港ドルまで	30万香港ドルまで	20万香港ドルまで	100万香港ドル - 2,000万香港ドル
その他 詳細	その他特典: • トレーニング、メンターシップ、ビジネスアドバイス • 事業開発支援、投資家紹介 • 広報、プロモーション • テナント卒業企業との交流やピアサポート（テナント同士の支援）	その他の特典: • サイバーポートの無料ワークスペース • サイバーポートの共有施設を無料で利用 • ネットワーキングの機会	アクセラレータープログラム費用の75%、オフィスレンタル、インターン、旅費・宿泊、マーケティング・プロモーション、専門サービスなどの助成	以下の75%をカバーする助成: • 海外または中国本土の代表団、マーケティング展示会もしくは会議参加にかかる費用 • 海外または中国本土へのビジネス展開（マーケティング、ランディングサービス）費用	デジタル技術系企業向け共同投資ファンド



87%

香港の社会は、起業家に対して十分かつ質の高い支援を行っている

スキャンして香港サイバーポートのインキュベーションプログラムの詳細をご覧ください。



⁵⁰ Cyberport – About Cyberport

香港城市大学の HK テック 300⁵¹



香港城市大学（CityU）は、学生、卒業生、研究者や一般居民が3年間で300社のスタートアップ企業を立ち上げることを目指す大規模なフラグシップイノベーション・起業家プログラム「HK Tech 300」を開始しました。

2021年3月の開始以来、1,000名以上の参加者が専門機関による起業家トレーニングを受けています。また、本プログラムでは、300以上のチームにそれぞれ10万香港ドルのシード資金を提供しています。さらに、70社以上のスタートアップが、それぞれ最高100万香港ドルのエンジェル投資資金を獲得しています。

HK Tech 300は、香港特別行政区政府の創新科技署(The Innovation and Technology Commission)、インベスト香港、4大商工会議所、その他の支援組織や専門サービスパートナーなど、約60の戦略的提携先が支援しています。さらに、HK Tech 300メンターシップスキームを通じて、各チームは80名のベテラン実業家や起業家から指導を受けています。

CityUでは、本プログラムの範囲をさらに広げ、香港と中国本土を対象とした「HK Tech 300 Start-up Competition」を全国規模で実施しています。このコンペティションは、香港と中国本土の優位性とリソースを相乗的に活用し、イノベーションにおける交流と協力を進め、CityUの研究成果の応用と中国本土における知的財産活用を促進することを目指しています。



スキャンして香港で提供されているインキュベーション・アクセラレーションプログラムの詳細をご覧ください。



⁵¹ City University of Hong Kong, 2022

香港の成熟した民間資金調達

香港では、ベンチャーキャピタルやプライベートエクイティファンドが後押しする民間投資が活発です。また、香港のファミリーオフィスでは、技術系スタートアップへの投資に関心が高まっています。香港の民間投資の70%以上は、初期、中期または拡大期のスタートアップに集中しています。⁵²

民間投資意欲を後押ししてきたのは、技術革新・科学技術ベンチャー基金（ITVF）をはじめとする共同投資スキームです。2017年以降、ITVFの共同投資スキームは、8億8,900万香港ドル以上の民間投資を呼び込んでいます。

Preqin社によると、活発なエコシステムを持つ香港は、2021年に59件の取引で34億米ドルという記録的な資金調達を達成しました。⁵³

「香港は、当社ファンドの重要な投資対象地域の1つです。香港の起業家のプロフェッショナリズムにはいつも驚かされ、彼らが成功できるよう力を注いでいます。資金提供だけでなく、営業やマーケティングのノウハウも伝え、投資先企業の市場拡大、特に当社が豊富な現場経験を持つ中国本土への進出を支援しています」



Andy Liu

Investment Director,
China Resources Enterprise

スキャンして香港
のプライベートベン
チャーキャピタルの
詳細をご覧ください。



スタートアップに資金やメンタリングの機会を提供するアクセラレーター・インキュベーションプログラムを立ち上げる企業も増加しています。

企業のアクセラレーター・インキュベーションプログラムの例

アクセラレーター/インキュベーター 概要

Eureka Nova	香港で革新的・破壊的技術を提供する企業の成長を支援するプラットフォームとして、新世界グループ (New World Group) が開始したアクセラレーター
HUAWEI Spark	HUAWEIが主催するアジア太平洋地域に進出しているディープテック系スタートアップのためのハイブリッドアクセラレータープログラム
92 Express	革新的なハードウェアソリューションを提供するスタートアップを対象に、GoogleがCoCoonと共同で開始したランディングプログラム
CRE x CityU Innovation and Entrepreneurship Programme	大湾区のライフサイエンス、ヘルスケア、バイオメディカル・エンジニアリング、材料科学、エンジニアリングに関わるベンチャー企業に投資する総額1億香港ドルのプラットフォーム

⁵² Preqin 2021のデータの案件数に基づく。初期、中期、拡大ステージのエンジェル、シリーズA、シリーズB、シリーズC、拡大資金調達を含む

⁵³ Preqinデータベースの開示案件に基づく。データセットは、2022年2月11日抽出

香港では、生命健康科学のような分野で必要となる長い研究開発期間への投資に前向きな投資家が増えています。その結果、香港のバイオテクノロジーや医療機器のスタートアップによる資金調達は、2017年から2021年にかけて3桁の年平均成長率を記録しました。2019年現在、香港はバイオテクノロジー企業にとってアジア最大、世界第2位の資金調達の拠点となっています。

Viva Ventures Biotech Fund

バイオメディカル
&ヘルスケア

Viva Ventures Biotech Fundは、バイオテクノロジーへの投資に特化した、世界で展開するベンチャーキャピタルファンドです。香港、中国本土、ヨーロッパや米国で、主に（創薬）初期段階のバイオテックスタートアップに投資しています。投資先企業が対象とするのは、癌、心血管疾患、ドライアイ、皮膚疾患、抗体、鎮痛化合物など、様々な疾患です。

Viva Ventures Biotech Fundの本社は、香港にあります。同社は、洗練された投資家のコミュニティが確立されている香港を拠点に選びました。

2019年、Viva Ventures Biotech Fundの投資先企業の1つであるViva Biotechが香港証券取引所に上場しました。香港上場の決め手となったのは、法務・会計コストを含む上場企業の維持コストが比較的低いことや、香港証券取引所の基準を維持する香港政府の強いコミットメントなどです。Viva Biotechは、世界をリードする複数の技術を持つ、統合的な構造ベース創薬・製造プラットフォーム大手です。2021年12月31日現在、34,391以上のタンパク質構造を顧客に提供し（2021年は13,134）、1,810件以上の個別の創薬標的について研究開発を行っています（2021年は226件）。

「香港政府は、香港のバイオテック産業の成長を後押ししようと尽力してきました。その役割には、創薬におけるAI活用の奨励や臨床試験センターの設立などがあります。さらに、バイオテック企業に対する新たな上場機会により、香港に進出する質の高いバイオテックスタートアップの数が増え、香港のバイオテック産業は一層活気づいていくでしょう」



Jun Mao
Founder,
Viva Ventures Biotech Fund

A full-page background image showing two men in business suits shaking hands in a modern office. They are standing in front of a large glass window that looks out onto a city skyline, including a prominent skyscraper. The scene is backlit by the sun, creating a strong silhouette effect and a warm, golden glow. The floor is made of light-colored wood planks.

包括的なエコシステム

スケールアップや市場拡大のための
包括的なアドバイザーとビジネスサポート

専門サービスとアドバイザリーサポート

香港には、国際標準で運営されている高度な専門サービス産業があります。法律サービス、金融サービス、知財（IP）サービス、ビジネス・アドバイザリーサポートなどが含まれます。

法律・知財（IP）相談サービス

アジアの国際的な法律サービスの中心地である香港には、国内外の2,900社以上の法律事務所があり、25,000人以上がこの業界に携わっています。⁵⁴

香港では外資規制がないため、外国の法律事務所が市場に参入できます。香港には、国際法律事務所の70%以上、そのうちGlobal 100に選ばれた法律事務所の50%以上が拠点を設けています。⁵⁵



「香港は、一流の金融・専門サービスで知られ、それらは企業が繁栄し事業を拡大するための重要な要素となっています。香港工業連盟（FHKI）は、ビジネス証明書の発行、知的財産トレーニングプログラムなど、様々なサービスや専門的サポートを提供することで、企業を後押ししています」



Steve Chuang
Executive Deputy Chairman,
Federation of Hong Kong
Industries

香港政府や業界団体が、IP相談サービスを提供：

- **香港政府知的財産権局**は、香港弁護士会の支援を受け、中小企業向けに無料で個別IP相談サービスを提供しています。
- **香港生産力促進局（HKPC）管轄下の知的財産サービスセンター**は、特許、商標、工業デザインの保護やIP管理により、地域の企業や発明家が知的財産を活用できるよう支援しています。
- **FHKI管轄下の知的財産センター**は、20年以上にわたるIP分野の専門経験を持ち、企業に無料相談サービスを提供しています。

⁵⁴ As of September 2021, Census and Statistics Department Hong Kong Special Administrative Region

⁵⁵ Forbes, 2021



会計サービス

国際金融ハブである香港には、非常に有能な会計事務所が数多く存在します。2021年9月現在、会計、簿記、監査サービス、税務コンサルティング事務所の数は合計で6,211社に上ります。これらの事務所には32,950人以上が従事しています。⁵⁶

香港公認会計士協会（HKICPA）による厳しい監督の下、香港の会計サービスの質は高い水準に保たれています。監査人は、HKICPA発行の実務証明書を取得しなければ業務を行うことができません。

ビジネスアドバイザーサポート

香港では、様々なビジネスアドバイザーサービスを提供されており、I&T企業をサポートしています。

香港サイバーポートと香港サイエンスパーク（HKSTP）

アクセラレーター・インキュベーションプログラムを通じたマーケティングサポート、プレス、メディアサービスなどのプロモーションや事業開発支援を行っています。HKSTPのTecOne（ワンストップのインフォメーション・サポートセンター）では、TecFunding、TecService、TecFinanceやTecMartを通じて、助成金、ビジネスコラボレーション、マーケティングなど様々な分野の助言を行っています。

香港生産力促進局（HKPC）

IoT、ビッグデータ解析、AI、ロボット工学などの先端技術の導入を支援する各種技術協力やコンサルティングサービスを通じて、香港企業の再工業化を支えています。SME ReachOutチームは、中小企業が適切な助成金スキームを見つけられるよう支援し、助成金の申請の問い合わせに対応しています。

中小企業支援相談センター（SUCCESS）

工業貿易局が運営するSUCCESSは、香港の様々な貿易・業界団体、民間企業、専門機関、その他の政府機関と協力し、無料のビジネス情報や相談サービスを提供しています。

民間経営コンサルティング会社

香港は、戦略やオペレーションなどのビジネスアドバイスをを行う民間の経営コンサルティングサービスが充実しています。香港には、このような企業が10,202社が事務所を構え、その中には国際的に著名な企業も含まれます。

また、43,484人がこの分野に従事しています。⁵⁷

⁵⁶ As of September 2021, Census and Statistics Department Hong Kong Special Administrative Region

⁵⁷ As of September 2021, Census and Statistics Department Hong Kong Special Administrative Region

ネットワーキングの場としての確立されたI&Tコミュニティ

香港には、国際企業や投資会社が多数存在します。企業、スタートアップ、投資家をつなぐプラットフォームやビジネスイベントも充実しています。I&T会議やフォーラム、ビジネスマッチング・イベントや展示会などが開催されています。



香港サイバーポートが毎年開催しているVenture Capital Forumは、世界のベンチャー専門家や起業家リーダーたちが、最新の資金調達戦略、市場力学、投資家の注目を集める価値創造についての知見を共有する、業界屈指のフォーラムです。

HKSTP Global Acceleration Academy (GAA) のGlobal Matchingは、企業のバイヤーや地域の投資家と、世界中の有望なスタートアップやテクノロジーベンチャーを結びつけ、最適で市場実証済みのソリューションの調達や価値ある投資先を紹介するビジネスと投資のマッチングイベントです。



Cyberport Investors Network (CIN) は、将来性のある高成長中のスタートアップに投資家を紹介し、業務フローを促進するサイバーポートの専用プラットフォームです。CINは現在、グローバルなエンジェル投資家、ベンチャーキャピタル、プライベートエクイティファン、ファミリーオフィス、コーポレートベンチャーの会員数が100を超え、中には大湾区で事業を行っている会員もいます。2020/21年度は、CINが投資家と23件のプロジェクトを結びつけ、3億5,800万香港ドルの投資を実現しました。



HKPC 5G Future Hallは、HKPCビル内にあり、潜在的なビジネスユーザーに製品を紹介するスペースです。3つの異なる周波数帯をカバーする4大通信事業者すべての5G基地局を収容しています。

そのため、建設、輸送、廃棄物管理、エネルギー、医療、その他の分野でのアプリケーションの5Gテストプラットフォームとしても機能しています。⁵⁸

84%

香港では、企業や中小企業向けの投資家イベントが多数開催されている

82%

香港では、企業や中小企業向けのネットワーキングイベントが多数開催されている

⁵⁸ HKPC 5G Future Hallは、新しい5Gインテリジェント製造とスマートリビングソリューションの展示、香港における5Gの研究開発とアプリケーションの推進を主導しています（2021年）。香港生産力推進局

StartmeupHK

StartmeupHKは、革新的でスケーラブルな海外スタートアップの創業者が香港に進出する際の支援を行うインベスト香港の取り組みです。

主な取り組み

Startmeup.hk



起業家のためのワンストップウェブサイトで、スタートアップの最新情報の入手、イベント予定のチェック、役立つストーリーの共有、起業プロセスをサポートするリソースへのアクセスができます。利用できるリソースには、資金調達先の概要や起業家が利用できる共有施設などがあります。

StartmeupHK Festival



パネルディスカッション、展示会、投資家とのマッチング、ハッカソン、ジョブフェアなどを行う年に1度のスタートアップイベントです。世界各国から参加できます。2021年は、103ヶ国から39,000人以上の参加者が集いました。



スキャンして
StartmeupHK
の詳細をご覧ください。



I&Tコミュニティ専用のオフィススペースとコワーキングスペース

サイバーポートとHKSTPのI&T専用オフィススペース

香港政府は、サイバーポートと香港サイエンスパーク（HKSTP）を通じ、I&Tコミュニティに専用のオフィススペースを提供しています。これらのオフィスには、最先端のブロードバンドネットワークと最新通信設備があります。会議場、展示場、店舗、エンターテインメント施設など、特定のサポートサービスが付帯しているところもあります。

I&Tコミュニティのためのコワーキングスペース

2021年現在、香港で**利用できるコワーキング拠点は124ヶ所**あります。⁵⁹

HKSTPは、敷地内のキャンパス（サイエンスパーク、InnoCentre）や敷地外の場所で、複数のコワーキングスペースを運営しています。これらのコワーキングスペースは通常、会員制か、ホットデスクやワークステーションごとに課金されます。例えば、2W co-working space、INNO2、Lion Rock 72、Wheelockなどがあります。コワーキングスペースの中には特定分野用のものがあり、同じような目的に向かって働く人々が互いに高め合い、強力なコミュニティを創出しています。こうした特定分野のコワーキングスペースの例としては、Incu-Bio co-working space、AI Plug、Fintech Centre、ICT co-working centreがあります。⁶⁰

サイバーポートは、Smart-Spaceと呼ばれる8つのコワーキングスペースをキャンパス内に提供し、現在677社のI&T企業が入居しています。7つのSmart-Spaceは薄扶林（ポックフォーラム）にあり、広さは12万平方フィート（約1.1万平方メートル）です。⁶¹最新のSmart-Spaceは、18歳から35歳までの起業家向けで、荃湾（ツェンワン）に位置し、20,000平方フィートにわたって60の多目的スペース、48のワークステーション、34のオフィススペースが用意されています。Smart-Spaceの利用者は、助成プログラムへのアクセス、ネットワーキングイベントへの招待、メンターの紹介など、香港サイバーポートが提供する付加価値の高いサービスを利用できます。

77%

企業や中小企業向けに十分なオフィススペースとコワーキングスペースが提供されている

スキャンして入居に関する詳細をご覧ください



サイバーポート
(オフィス)



HKSTP
(オフィス)



サイバーポート
(Smart-Space)



HKSTP
(コワーキング)

⁵⁹ StartmeupHK – Shared Facilities

⁶⁰ HKSTP – Labs and co-working spaces

⁶¹ Cyberport – Smart-Space

スマート製造を開拓する香港出身のユニコーン

SmartMoreは、スマート製造とデジタルイノベーションの強化・推進を目指す新鋭のスマートテクノロジー企業です。アルゴリズムの研究開発、ソフトウェアエンジニアリング、光学設計、自動化、ハードウェアの最適化という5つのコア能力を持つSmartMoreは、革新的な変革を求める顧客の多様なニーズを満たすフルスタック（様々な分野に対応可能）なソフトウェア・ハードウェア・ソリューションのインフラとエコシステムを構築しています。

香港中文大学のIEEEフェローでコンピュータ理工学の終身教授と、その教え子である博士課程の大学院生2人が2019年に設立したSmartMoreは、中国本土や他のアジア太平洋地域に急速に事業拡大し、現在、1,000人近い社員を擁しています。

SmartMoreは、香港、深圳、上海、北京、蘇州、杭州、重慶、シンガポールと東京に研究開発・ビジネス拠点を置いています。香港オフィスは、海外市場への販売流通拠点であるだけでなく、産業用アプリケーションにおける同社の重要な研究開発拠点となっています。

また、同社はHKSTPのIncu-Techプログラムの卒業企業であり、現在、将来性の高いテクノロジーベンチャー企業の香港内外での成長過程をナビゲートするアクセラレータ、LEAPプログラムに参加しています。

2021年6月、SmartMoreは2億米ドルの資金を確保し、ユニコーン企業となりました。現在までに同社は、自動車、家電、半導体、精密光学などの業界において、100社以上の多国籍企業や大企業のための様々なスマート製造ソリューションを開発しています。

「香港は、特に半導体分野の研究開発人材が豊富で、当社のイノベーションと開発に欠かせない存在です。さらに、香港は主要な国際市場に近く、自由貿易港であるため、最高の販売・流通拠点です。

SmartMoreはIncu-TechとLEAPプログラム（現在はアクセラレーションプログラムとして知られる）を通じて、オフィススペースや施設のサポートから海外展開やプロモーションの支援まで、HKSTPから多大な支援を受けました。また、HKSTPの広範な業界ネットワークも活用し、潜在顧客を獲得できました」



Tandy Tan
General Manager,
Global Business,
SmartMore

香港は、国際ビジネスと起業のハブとしての競争力を背景に、近年、技術主導のイノベーションにおいて目覚ましい発展を遂げています。本書では、香港の豊富なI&Tリソースに焦点をあて、政府の協力的な政策やインセンティブに支えられた活発なエコシステム、官民投資の拡大、大湾区や海外の学界、スタートアップ、産業界の協力関係を紹介しています。皆様が香港の幅広いサービスを知り、活用することで、ビジネスの成功につなげてほしいと願っています。



Falcon Chan
Partner, Strategy, Analytics and M&A
Deloitte China

香港は、イノベーションとテクノロジーの国際ハブになるでしょう。世界をリードする研究開発インフラ、卓越した学界、国際色豊かな人材プール、シンプルで低税率な税制度を持つフレンドリーなビジネス環境、世界的な金融センターとしての地位など、香港独自の競争力により、世界中から海外投資と優秀な人材を呼び込みます。特に大湾区から生まれる相乗効果によって、香港で得られるネットワークと機会は特別です。



Andy Wong
Head of Innovation and
Technology
Invest Hong Kong

香港は、I&Tビジネスのあらゆる成長段階において活用できる、ワンストップのハブとなっています。ビジネスを確立しているI&T企業は、本土の大湾区都市との近接性という香港の利点を生かし、新たな市場に進出できます。スタートアップは、香港の研究人材やインフラを利用して、初期の概念実証を行うことができます。高度なデジタルインフラから潤沢な資金まで、香港はI&Tビジネスの成長を支える肥沃な土壌を備えています。香港で是非貴社の商機を追求してみてください。



Robert Lui
Partner, Government Affairs Leader
Deloitte China

謝辞

御見識と体験談をお寄せくださった皆様に感謝申し上げます。
(お名前は引用順で記載させていただいております。)

Professor Dong Sun

Secretary for Innovation,
Technology and Industry
Innovation, Technology and
Industry Bureau

Elsa Wong

Managing
Director,
NEC Hong Kong

Jonathan Chiu

President,
Schneider Electric Hong
Kong

Lit Fung

VP, Managing Director
of Overseas Business,
Geek+

Daniel Thurley

President,
Hong Kong Association of the
Pharmaceuticals Industry
General Manager — Hong
Kong and Macau,
Roche
(At time of interview)

Cary Chan

Executive Director,
Hong Kong Green Building
Council

Simon Ng

CEO,
Business Environment
Council

Ricky Chiu

Chairman and
CEO,
PHASE Scientific

Sun Feng Quan

Chairman,
Hong Kong Aerospace
Technology Group

Clarie Ku

Vice Chairman,
Hong Kong Aerospace
Technology Group

Albert Wong

CEO,
Hong Kong Science &
Technology Parks Corporation

Patrick Siu

CEO,
Hong Kong-Shenzhen
Innovation and Technology
Park

Peter Yan

CEO,
Cyberport

Lucas Hui

Chief Technology Officer,
Hong Kong Applied Science
and Technology Research
Institute

Simon Wong

CEO,
Logistics and Supply
Chain MultiTech R&D
Centre

Ivan Sham

Chief Commercial Officer,
Nano and Advanced
Materials Institute

Lawrence Cheung

Chief Innovation Officer,
Hong Kong Productivity
Council

Cally Chan

General Manager,
Microsoft Hong Kong and
Macau

Simone Song

Founder,
ORI Capital

Andy Liu

Investment Director,
China Resources
Enterprise

Jun Mao

Founder,
Viva Ventures Biotech
Fund

Steve Chuang

Executive Deputy
Chairman,
Federation of Hong Kong
Industries

Tandy Tan

General Manager,
Global Business,
SmartMore

インベスト香港について

インベスト香港（香港投資推進局）は、香港への対内直接投資を推進する香港特別行政区政府の専門部局です。海外や中国本土企業が香港で事業を立ち上げ、発展できるようお手伝いします。また、すでに香港に進出している海外企業には、香港での事業拡大を支援するサービスを提供しています。

インベスト香港のサービスは、すべて無料かつお客様のニーズに合わせて行い、秘密を厳守します。インベスト香港のサービスには次のようなものがあります。

香港のビジネス環境に関する最新情報の提供

- セクター別のアドバイスと商機
- 会社設立の手続き
- 税制・事業規制
- 事業コスト
- 雇用法
- 入境要件
- ビジネスネットワーキングの機会

ビジネス専門家の紹介

- 弁護士、会計士、HR会社、コンサルタント、デザイナー、内装業者、不動産会社

訪問先の手配

- サービス業者、業界団体、政府関係者・政府部局との面談

その他

- 事業認可、ビザ申請、商標登録、IP・貿易規制対応に関する支援
- 企業の立ち上げや拡大時のマーケティング・広報サービス
- 香港での生活や就労に関するアドバイス - 住居、医療、学校、ネットワーキングなど

インベスト香港は世界の主要都市にオフィスを持ち、各業種の専門家がそろっています。香港での会社設立に関する無料相談や、インベスト香港が提供する香港進出・事業拡大支援サービスの詳細について、お気軽にお問い合わせください。

免責事項：本書に記載されている情報は、あくまでも一般的な参考情報です。インベスト香港では、情報が最新および正確であることに最大限の注意を払っておりますが、（明示的か暗示的かを問わず）いかなる情報の過ちや欠落、誤表記、誤表示等についての責任は負わず、また、情報の使用や誤用、準拠に起因するいかなる損失や破壊または損害（結果的な損失や破壊または損害を含むがこれに限らない）についても一切の責任や義務を負いません。本書に記載されているすべての情報は、読者自身の責任で評価されるものであり、当該情報に基づいて行動する前に調査し、独立した助言を得ることで検証されるものです。また本書は、特定の企業やサービス提供者による資料や提案事項が、他の企業やサービス提供者より優れていることを暗示的に保証するものではありません。

© 2023年

インベスト香港のウェブサイトをご覧ください



お問い合わせ先:

Andy Wong

Head of Innovation & Technology
Invest Hong Kong
Tel: +852 3107 1013
Email: andywong@investhk.gov.hk

Wendy Chow

Head of Innovation and Technology
- Information & Communications Technology
Invest Hong Kong
Tel: +852 3107 1012
Email: wchow@investhk.gov.hk

Bryan Peng

Head of Innovation & Technology
(Greater Bay Area)
Invest Hong Kong
Tel: +852 3107 1465
Email: bryanpeng@investhk.gov.hk

ABOUT DELOITTE CHINA

Deloitte China provides integrated professional services, with our long-term commitment to be a leading contributor to China's reform, opening-up and economic development. We are a globally connected firm with deep roots locally, owned by our partners in China. With over 20,000 professionals across 30 Chinese cities, we provide our clients with a one-stop shop offering world-leading audit & assurance, consulting, financial advisory, risk advisory, tax and business advisory services.

We serve with integrity, uphold quality and strive to innovate. With our professional excellence, insight across industries, and intelligent technology solutions, we help clients and partners from many sectors seize opportunities, tackle challenges and attain world-class, high-quality development goals.

The Deloitte brand originated in 1845, and its name in Chinese (德勤) denotes integrity, diligence and excellence. Deloitte's professional network of member firms now spans more than 150 countries and territories. Through our mission to make an impact that matters, we help reinforce public trust in capital markets, enable clients to transform and thrive, empower talents to be future-ready, and lead the way toward a stronger economy, a more equitable society and a sustainable world.

Deloitte refers to one or more of Deloitte Touche Tohmatsu Limited ("DTTL"), its global network of member firms, and their related entities (collectively, the "Deloitte organization"). DTTL (also referred to as "Deloitte Global") and each of its member firms and related entities are legally separate and independent entities, which cannot obligate or bind each other in respect of third parties. DTTL and each DTTL member firm and related entity is liable only for its own acts and omissions, and not those of each other. DTTL does not provide services to clients.

Deloitte Asia Pacific Limited is a company limited by guarantee and a member firm of DTTL. Members of Deloitte Asia Pacific Limited and their related entities, each of which are separate and independent legal entities, provide services from more than 100 cities across the region.

Please see www.deloitte.com/about to learn more.

CONTACT US:

Edward Au

Southern Region Managing Partner
Deloitte China
Tel: +852 2852 1266
Email: edwau@deloitte.com.hk

Robert Lui

Government Affairs Southern Region Leader
Deloitte China
Tel: +852 2852 6324
Email: rolui@deloitte.com.hk

Coco Tong

Deloitte Consulting China Manager
Tel: +852 2531 1812
Email: cotong@deloitte.com.hk

Falcon Chan

Deloitte Consulting China Partner
Tel: +852 2531 1558
Email: falconchan@deloitte.com.hk

Brian Li

Deloitte Consulting China Senior Manager
Tel: +852 2531 1826
Email: briali@deloitte.com.hk

This communication contains general information only, and none of Deloitte Touche Tohmatsu Limited ("DTTL"), its global network of member firms or their related entities (collectively, the "Deloitte organization") is, by means of this communication, rendering professional advice or services. Before making any decision or taking any action that may affect your finances or your business, you should consult a qualified professional adviser.

No representations, warranties or undertakings (express or implied) are given as to the accuracy or completeness of the information in this communication, and none of DTTL, its member firms, related entities, employees or agents shall be liable or responsible for any loss or damage whatsoever arising directly or indirectly in connection with any person relying on this communication. DTTL and each of its member firms, and their related entities, are legally separate and independent entities.

© 2023. For information, contact Deloitte China.



24/F, Fairmont House
8 Cotton Tree Drive
Central, Hong Kong
Tel: (852) 3107 1000
Email: enq@investhk.gov.hk

investhk.gov.hk



Find Us on Social Media

